SHARP

[ファッピィ:]
fappy*
FAX makes it happy.

普通紙コピーファクシミリ
取扱説明書

ユーエックス ダブル　　シーエル
形名UX-W50CL

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。
この取扱説明書は保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

技術基準適合品

もくじ

ページ

もくじ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
安全に正しくお使いいただくために・・・・・・4
取扱説明書の使いかた ・・・・・・・・・・・・9
特長・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

準備

ページ

商品の構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
ご使用の前に知っておいていただきたいこと・・・13
各部のなまえとはたらき・・・・・・・・・・16
親機を接続する・・・・・・・・・・・・・・22
記録紙をセットする・・・・・・・・・・・・24
充電器を接続する・・・・・・・・・・・・・27
　子機を充電する・・・・・・・・・・・・・28
　コードレスハンドコピーを充電する・・・29
呼出音や受話音量、スピーカーの音量を変える・・・・30
　呼出音の種類を変える・・・・・・・・・・32
日付と時刻を合わせる・・・・・・・・・・・34
あなたの電話番号や名前を登録する・・・・・36
　文字入力のしかた・・・・・・・・・・・・38
契約しているサービスを利用する・・・・・・46
　ナンバー・ディスプレイを利用設定する・・46
　ｷｬｯﾁﾎﾝ･ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ（番号表示）を利用設定する・・47
　Ｆネットを利用設定する・・・・・・・・・47

電話

ページ

電話をかける・・・・・・・・・・・・・・・・48
　受話器や子機を置いたまま電話をかける（スピーカーホン）・・50
電話を受ける・・・・・・・・・・・・・・・・52
　受話器や子機を置いたまま電話を受ける（スピーカーホン）・・54
　子機だけに電話がかかってくるようにする（優先呼出）・・56
通話中にお待たせする（保留）・・・・・・・・57
電話帳を使う・・・・・・・・・・・・・・・・58
　親機の電話帳に登録する・・・・・・・・・58
　親機に登録した名前や番号を修正する・・・60
　親機の電話帳で電話をかける・・・・・・・62
　子機の電話帳に登録する・・・・・・・・・64
　子機に登録した名前や番号を修正する・・・66
　子機の電話帳で電話をかける・・・・・・・68
電話帳の内容を転送する・・・・・・・・・・70
子機から相手の方にワンタッチでかける（ホットラインダイヤル）・・72
電話をかけ直す（再ダイヤル）・・・・・・・73

ホームテレホン

ページ

親機と子機の間でお話しする（内線通話）・・・75
かかってきた電話を自分ひとりでとりつぐ（ひとり転送）・・77
かかってきた電話をとりつぐ（とりつぎ転送）・・78

コピー

ページ

コピーやファクスをする前に・・・・・・・・80
コピーする・・・・・・・・・・・・・・・・・83
コピーの種類を選んでコピーする・・・・・84

ｺｰﾄﾞﾚｽﾊﾝﾄﾞｺﾋﾟｰ

ページ

コードレスハンドコピーをお使いになる前に・・85
コードレスハンドコピーを使う・・・・・・・87
コードレスハンドコピーでファクスを送る・・93

ファクス

ページ

ファクスを送る・・・・・・・・・・・・・・・95
　海外へファクスを送る・・・・・・・・・98
　電話帳や再ダイヤルでファクスを送る・・100
ファクスの受けかたを選ぶ・・・・・・・・・104
　ファクスを受ける・・・・・・・・・・・106
受信データを画面に表示する（見てからﾌﾟﾘﾝﾄ機能）・・・110
　メモリー受信したファクスをプリントする・・・113
　メモリー受信したファクスを消去する・・・115
コピーやファクスをもっと便利に使う・・・・・116

留守番電話

ページ

留守番電話として使う（留守モード）・・・・120
外出前に留守に設定する・・・・・・・・・・122
　録音内容を聞く・・・・・・・・・・・・123
　録音内容を再生する・・・・・・・・・・124
　録音内容を消去する・・・・・・・・・・126
自分で応答メッセージを録音する・・・・・・127
留守機能をもっと便利に使う・・・・・・・・128

便利な使いかた

ページ

親機の待機画面を変える(キャラクタークリップ機能）・・130
通話内容や伝言メモを録音する（親機）・・・132
再ダイヤルの記憶を電話帳に登録する（子機）・・・133
モーニングコールを使う（子機）・・・・・・134
自分で呼出音を作る（ｵﾘｼﾞﾅﾙﾒﾛﾃﾞｨｰ）（子機）・・136
子機をもっと便利に使う・・・・・・・・・・144
呼出音を鳴らさずにファクスを受ける（ノンコール着信）・・146
こちら側の操作でファクスを受ける（ポーリング受信）・・148
外出先から用件や伝言を聞く（リモート操作）・・149
プッシュホンのサービスを利用する・・・・・152
キャッチホンサービスを利用する・・・・・・153

システムアップ

ページ

電話機を増設する・・・・・・・・・・・・・154
子機を増設する（増設子機）・・・・・・・・155
　子機から子機へメッセージを伝える（子機間ひと声通知）・・156
　子機から子機へ転送する（ひと声転送）・・157
ドアホンを接続する・・・・・・・・・・・・158
　ドアホンと話す（ドアホン通話）・・・・159

シャープ スペースタウン for FAX

ページ

シャープ スペースタウン for FAXについて・・・・・・162
　シャープ スペースタウン for FAXに加入する・・・163
　シャープ スペースタウン for FAXを利用する・・・164
ダイレクトFAXサービスを利用する・・・・166
ふぁっぴぃEメールを利用する・・・・・・・168

Lモードサービス

ページ

Lモードサービスについて・・・・・・・・・176
はじめてLモードサービスを利用する・・・・177
サイト（番組）を表示する・・・・・・・・・182
　ページやサイトを登録して素早く表示する・・183
　マイメニューを使う・・・・・・・・・・187
　ページを再読み込みする・・・・・・・・189
　URLを入力してページを表示する・・・・190
　サイトのページを保存する・・・・・・・192
表示したページを記録紙に印刷する・・・・・194
着信メロディを取り込む・・・・・・・・・・195
電話帳やBookmarkデータをアップロードする・・・196
電話帳やBookmarkデータをダウンロードする・・・198
画面メモに保存している画像を待機画面に表示する・・・ 199
Lモードを便利に使う・・・・・・・・・・・201
メールサービス（Lメール）について・・・202
　Lモード利用時に文字を入力するには・・203
メールを作成して送信する・・・・・・・・・207
　定型文を挿入する・・・・・・・・・・・209
メールを受信する/表示する・・・・・・・・211
　保存している受信メールを表示する・・・213
　受信メールを保護する・・・・・・・・・215
　メールを他の宛先に転送する・・・・・・216
　メールに返事を出す・・・・・・・・・・217
PHONE TO・MAIL TO・FAX TO・WEB TO 機能を使う・・218
未送信メールを表示する・・・・・・・・・・222
　未送信メールを編集する・・・・・・・・224
　未送信メールを一括送信する・・・・・・225
送信済メールを表示する・・・・・・・・・・226
　送信済メールを編集する・・・・・・・・228
電話帳から宛先を検出する・・・・・・・・・230
相手のメールアドレスを電話帳に登録する・・231

ナンバー・ディスプレイ

ページ

ナンバー・ディスプレイを利用する・・・・232
着信記録を表示する／プリントする・・・・・236
　着信記録を使って電話をかける・・・・・239
　着信記録を使ってファクスを送る・・・・241
　着信記録から親機の電話帳に登録する・・243
　着信記録から子機の電話帳に登録する・・244
着信の種類に合わせて呼出音を変える（着信鳴り分け）・・245
着信の種類に合わせて相手の方におことわりの
メッセージを流す・・・・・・・・・・・・・248
特定の番号からの電話の受けかたを設定する（特定番号着信）・・251
キャッチホン・ディスプレイを利用する・・・・254

こまったときは

ページ

声が聞こえにくいときは・・・・・・・・・・256
記録紙に白や黒い線が入るときは・・・・・・257
お手入れのしかた・・・・・・・・・・・・・258
原稿や記録紙がつまったときは・・・・・・・259
こんなときは（親機）・・・・・・・・・・・261
こんなときは（子機）・・・・・・・・・・・268
こんなときは（各種サービス）・・・・・・・270
こんなときは（エラー表示／アラーム音）・・271
故障かな？と思ったときは（修理依頼される前に）・・277
停電になったときは・・・・・・・・・・・・278
インクリボンの交換が必要になったときは・・279
充電池の交換が必要になったときは・・・・・282
保証とアフターサービス（よくお読みください）・・284
お客様ご相談窓口一覧表・・・・・・・・・・285

ご参考に

ページ

別売品／消耗品・・・・・・・・・・・・・・287
マルチファンクションキーとスタートボタンを
使った登録・設定操作について・・・・・・・288
親機の登録・設定・電話帳の内容を初期化するときは・・289
初期設定（工場出荷時）一覧表・・・・・・・290
Fネット（ファクシミリ通信網サービス）について・・291
区点コード一覧表・・・・・・・・・・・・・292
仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・304
登録／設定メニューリスト・・・・・・・・・305
さくいん・・・・・・・・・・・・・・・・・308
リモート操作手順カード・・・・・・・・・・313
通信テストシート

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

図記号について

⚠危険 人が死亡または重傷を負うおそれが高い内容を示しています。

⚠警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

⚠注意 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

上の記号は、気をつける必要があることを表しています。

上の記号は、してはいけないことを表しています。

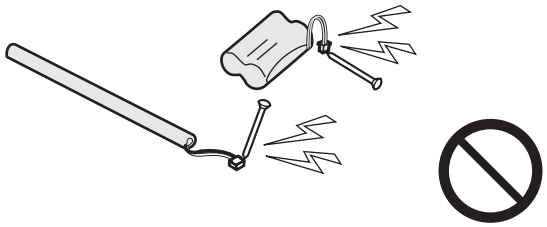
上の記号は、しなければならないことを表しています。

⚠危険

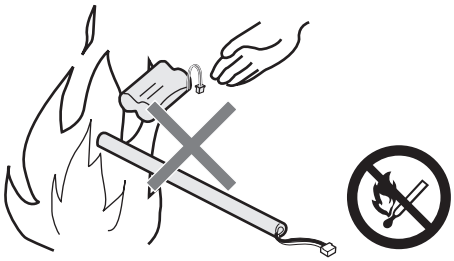
充電池の取り扱いについては、必ず次のことを守ってください。正しく使用しないと、充電池の液漏れ・発熱・破裂により、やけどやけがの原因となります。

■充電池をネックレス・ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。

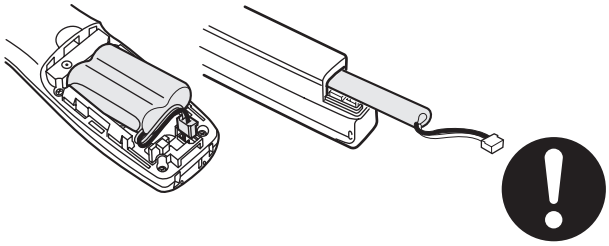
■充電池の⊕⊖端子を金属などで接触させないでください。



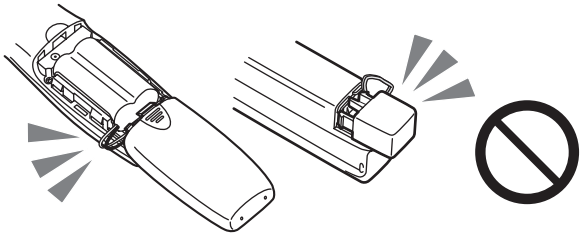
■充電池を水や火の中に捨てたり、加熱したりしないでください。



■充電池は、専用のものを使用してください。

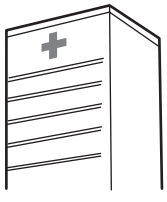


■充電池ふたを取り付けるときは、充電池のコードをはさまないようにしてください。



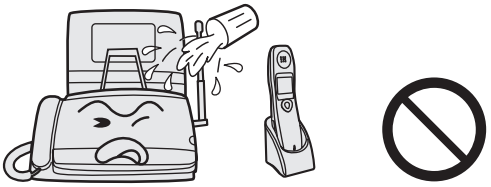
■充電池の液が目に入ったときは、こすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

失明のおそれがあります。

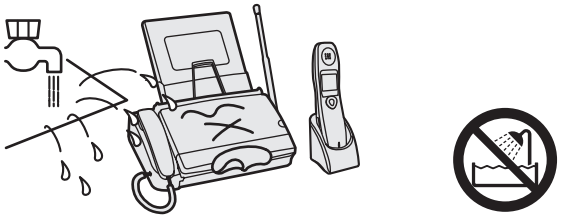


⚠警告

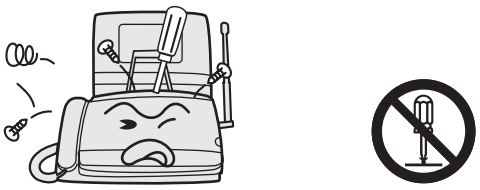
■水や薬品などの液体をこぼさないでください。
火災・感電の原因になります。液体をこぼした場合は、差し込みプラグまたはACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。



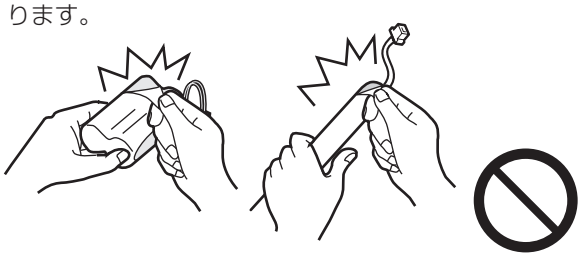
■浴そうなど、湿気の多い場所では絶対に使用しないでください。
絶縁が悪くなり火災・感電の原因になります。



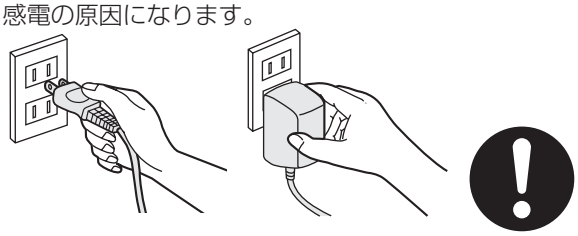
■ご自身での分解や修理・改造は絶対にしないでください。
火災・感電の原因になります。修理は販売店へご相談ください。



■充電池のビニールカバーを、はがしたりしないでください。
充電池の液が漏れたり、発熱・破裂させる原因になります。

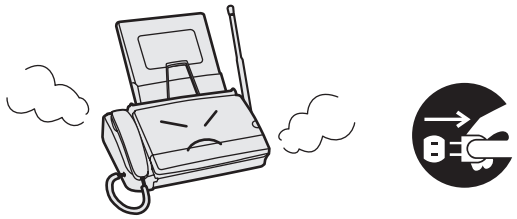


■差し込みプラグやACアダプターを抜き差しするときは本体（金属でない部分）を持ってください。
感電の原因になります。



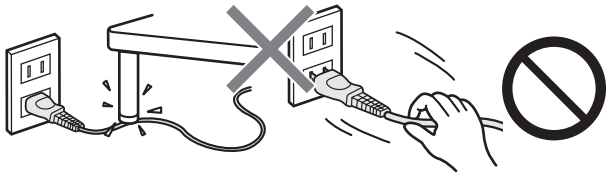
■内部に金属物を入れないでください。
火災・感電の原因になります。金属物が入った場合は、差し込みプラグまたはACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。

■煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したりした場合は使用を中止してください。
火災・感電の原因になります。差し込みプラグまたはACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。

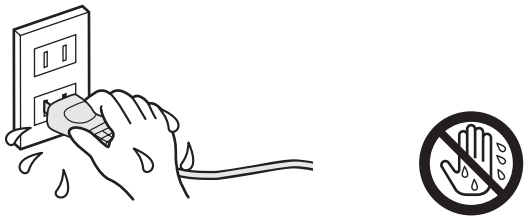


■この製品を持ち運ぶときは、落としたり、衝撃を与えたりしないようにしてください。
けがの原因になります。
万一、この製品を落としたり、キャビネットを破損した場合は販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

■電源コード・差し込みプラグを破損するようなことはしないでください。
傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったり、無理に曲げたりねじったり、重い物を載せたり、束ねたりしないでください。
傷んだまま使用すると、感電や火災の原因になります。
コードやプラグの修理は、販売店へご相談ください。

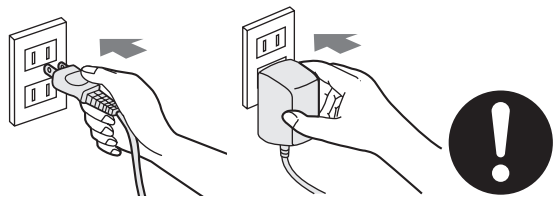


■ぬれた手で差し込みプラグやACアダプターの抜き差しはしないでください。
感電の原因になります。

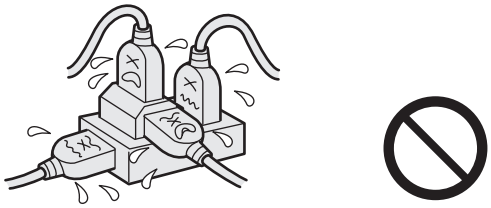


⚠警告

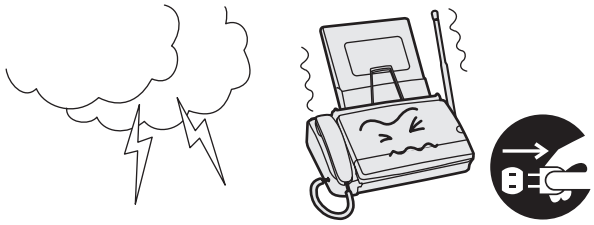
■差し込みプラグやACアダプターは根元まで確実に差し込んでください。
感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。



■コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。
たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

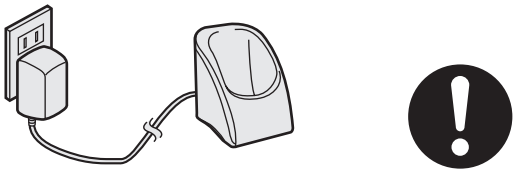


■雷が鳴り始めたら、安全のため早めに差し込みプラグ、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
火災・感電・故障の原因になります。

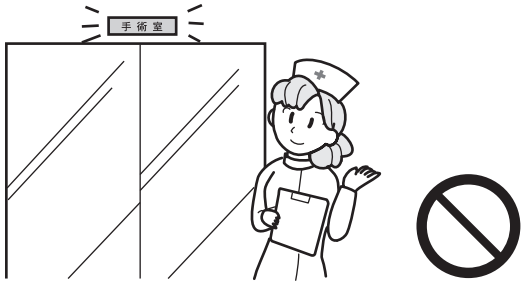


■この製品は国内電源仕様です。家庭用電源電圧（交流100V）に必ず接続してください。
海外や交流100V以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。

■子機を充電するときは、専用の充電器、ACアダプターを使用してください。
指定以外のものを使用すると、充電池の液漏れ・発熱・破裂により、やけどやけがの原因になります。

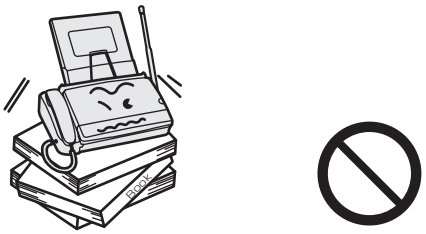


■医療用電気機器の近くでは使用しないでください。
本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

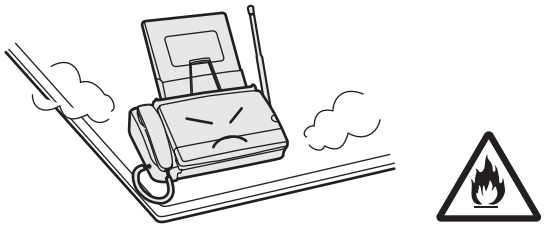


⚠注意

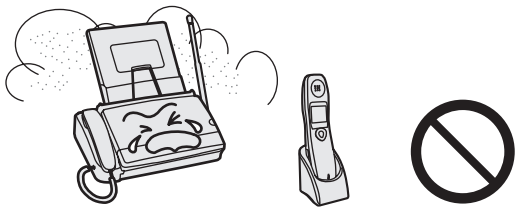
■水平でない場所や振動の激しい場所には置かないでください。
落下により破損・けがの原因になることがあります。



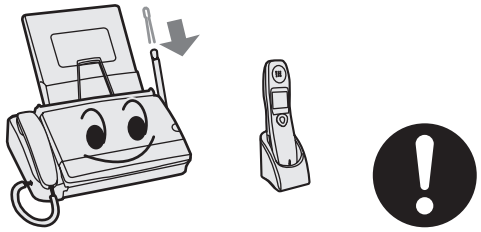
■風通しの悪いところや、じゅうたんなどの上に置かないでください。
通風口をふさぎ本体の放熱が悪くなり、じゅうたんなどの変色、火災の原因になることがあります。



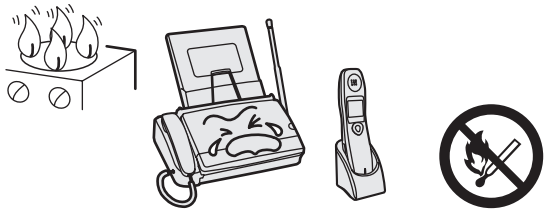
■湿気や湯気・油煙・ほこりの多い場所では使用しないでください。
火災・感電・故障の原因になることがあります。



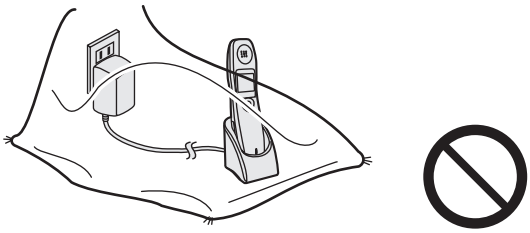
■この製品を移動するときは、アンテナをたたんで、差し込みプラグ・電話機コード・ACアダプターを抜いてください。
事故の原因になることがあります。



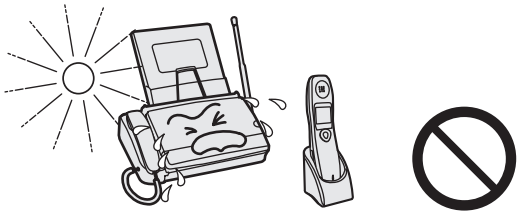
■火気や熱器具に近づけないでください。
変形や故障、火災の原因になることがあります。



■充電器やACアダプターを布や布団でおおったり、つつんだりしないでください。
熱がこもり、火災の原因になることがあります。



■暑い場所や直射日光のあたるところ、冷暖房機の近くには置かないでください。
35℃以上、5℃以下では、誤動作・変形・故障の原因になります。



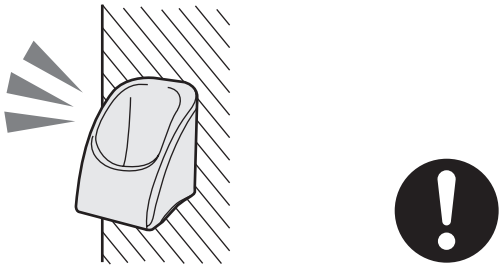
■万一漏電した場合の感電事故防止のため、アース線を取り付けてください。

○アース線を取り付けられるところ
電源コンセントのアース端子
銅片などを65cm以上、地中に埋めたもの
設置工事（D種）が行われている接地端子

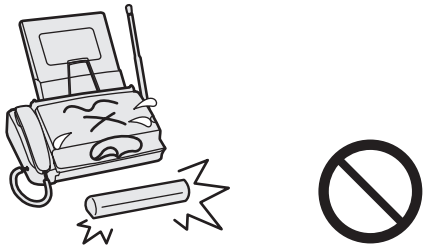
○アース線を取り付けてはいけないところ
ガス管
電話専用アース
避雷針
水道管や蛇口

⚠注意

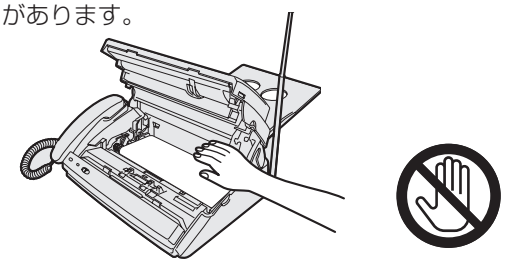
■子機を壁にかけて使用するときは、充電器を確実に取り付けてください。
落下により、けがの原因になることがあります。



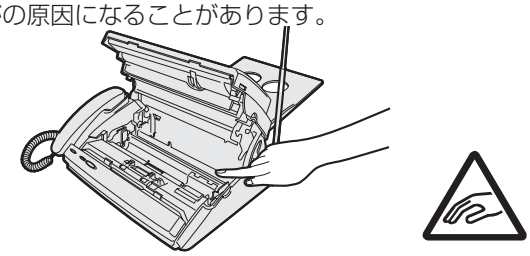
■ハンドコピーは落としたり、ぶつけたりしないでください。
落下によりガラスが割れてけがの原因になることがあります。



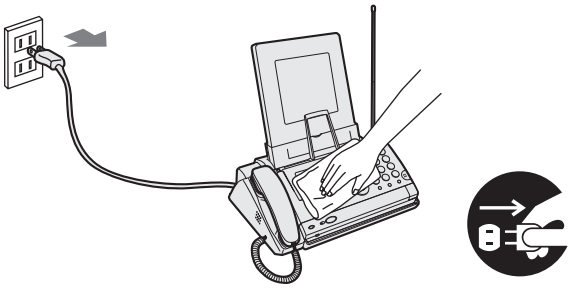
■手で直接記録ヘッドに触れないでください。
発熱している場合があり、やけどやけがの原因になることがあります。



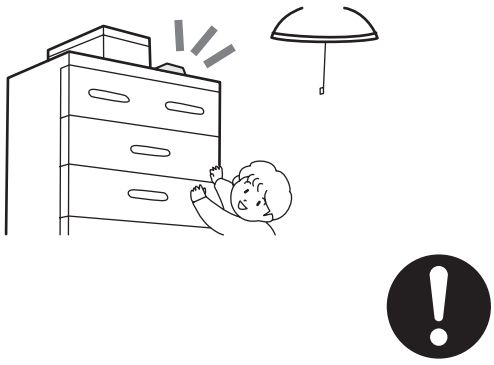
■カバーを閉めるときに、指などをはさまないように注意してください。
けがの原因になることがあります。



■点検・清掃（お手入れ）は、必ず差し込みプラグ、ACアダプターをコンセントから抜いて（記録ヘッドなど熱くなるものは冷えてから）行ってください。
感電やけが（やけど）の原因になることがあります。



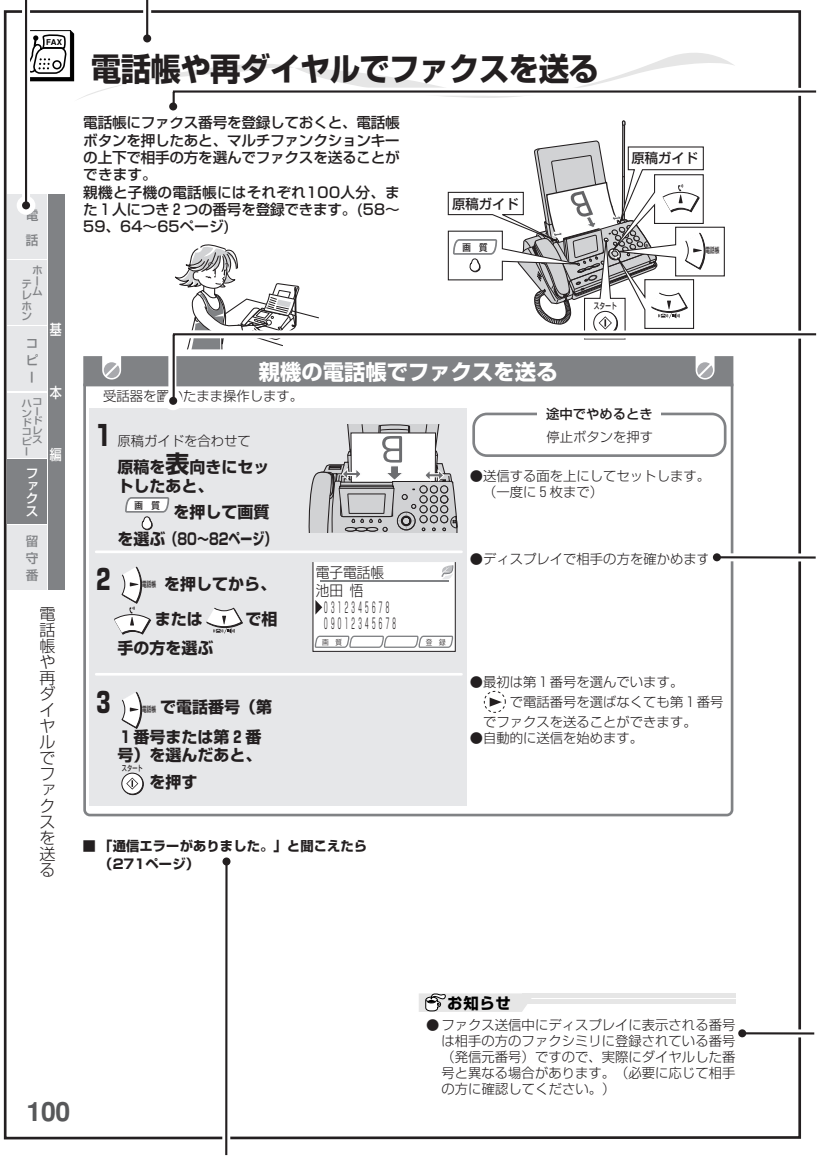
■充電池は、幼児の手の届かない所に保管してください。



取扱説明書の使いかた

■インデックス
操作したい項目を簡単に検索できます。

■タイトル
これから行う操作や項目を表しています。



■機能説明
これから行う操作によってできるようになる機能について、イラストなどで、説明しています。

■操作手順
基本的な操作のしかたを説明しています。

■補足説明
操作のしかたに関する補足事項を説明しています。

☞お知らせ
知っておくと便利で役に立つことや、制約事項などについて説明しています。

■追加説明
操作の途中で、こまったときのアドバイスや、その他の追加操作について説明しています。

手順1の中に記載している 画質 はソフトボタン（18ページ）です。ソフトボタンは操作によってボタン名を切り替えて表示しています。使用するときは ○ の部分を押してください。
また、手順3の補足説明にある ► はマルチファンクションキーのボタンを示しています。三角の指す方向のマルチファンクションキーを押してください。

特長

普通紙ファクシミリ／充実のFAX機能

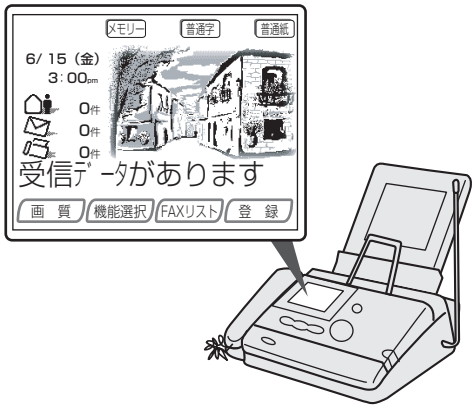
熱転写記録方式により、普通紙でコピーやファクス受信ができます。
また、感熱カット紙を使うこともできます。中間調64階調採用により、写真原稿も鮮明にファクス送信や普通紙コピーができます。フラッシュメモリ採用のため、停電になってもメモリー受信したデータは消えません。

コードレスハンドコピー（85～94ページ）

ノートなどのとじ込み原稿も切り取らずにコピーできます。コードレスなので本体から離れた場所でも使うことができます。

見てからプリント機能

メモリー受信したファクスのデータを表示したり（110ページ）、ハンドコピーに記録したデータを表示（92ページ）することができます。



※ 最初は「見てからプリント」ではなく、直接記録紙にプリントする設定になっています。「受信プリント」や「ハンドコピープリント」の設定を「見てからプリント」にするとお使いになれます。（116～117ページ）

漢字表示液晶ディスプレイ付コードレス子機

漢字表示液晶ディスプレイで電話番号や名前を表示。子機の操作でファクス送受信はもちろん、録音を再生することもできます。また、必要に応じて子機は合計 4 台まで増設できます。

※子機を増設しても子機間通話できません。

マルチファンクションキーで選べる電話帳（58～71、100、102ページ）

親機も子機もマルチファンクションキーで相手の方を選んで電話やファクス送信ができます。（親機と子機にそれぞれ100人分× 2 番号）
しかも、どちらかに登録した電話帳データを親機↔子機間で転送できるため、同じデータを2度登録する手間が省けます。

フラッシュメモリー採用デジタル留守録（120～129ページ）

デジタルだから巻き戻し不要で「即頭出し再生」「早聞き再生」「遅聞き再生（親機のみ）」ができます。
フラッシュメモリー採用のため、停電になっても録音内容は消えません。

スピーカーホン（50~51,54~55ページ）

親機の受話器を置いたままで、また子機を充電器に置いたままで、相手の方とお話ができます。

Sharp Space Town for FAX対応（162~175ページ）

シャープ　スペース　タウン

暮らし情報やプレゼント情報など、お客様の生活に役立ち、得するいろいろな情報をファクスで取り出すことができます。また、パソコンとの間でＥメールFAXが送信できる「ふぁっぴぃＥメール」サービスなどのバラエティーに豊んだシャープ独自のサービスを提供しています。
加入契約が必要です。（有料）

4和音着信メロディ

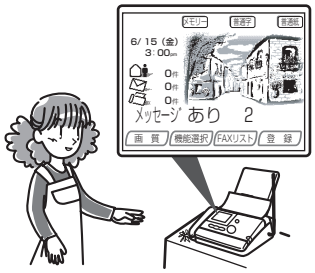
4和音の美しいメロディを着信音にできます。
Lモードサイト（番組）から好みの曲をダウンロードして着信音にすることもできます。

着メロ作曲機能（136~143ページ）

子機の呼出音のメロディーを自分で作ることができます。

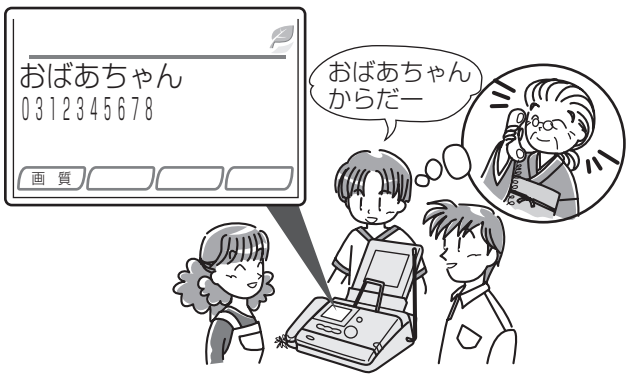
Lモードサービス（176~231ページ）

簡単なボタン操作で、暮らしに役立つ情報を検索して見ることができます。
また、パソコンや携帯電話などとメールのやりとりもできます。
Ｌモードサービスを利用するにはNTTとの加入契約と、月額基本料が必要です。（有料）



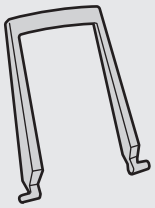
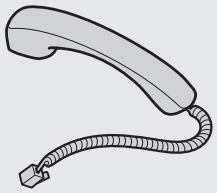
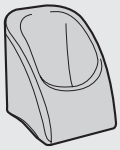
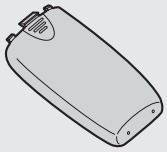
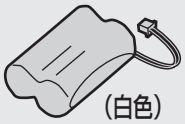
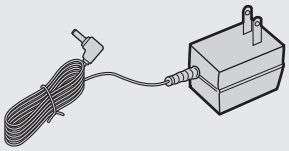
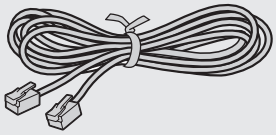
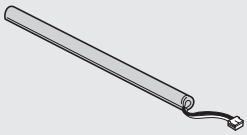
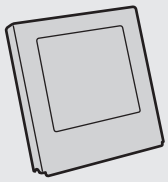
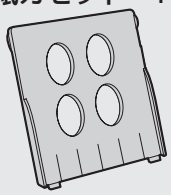
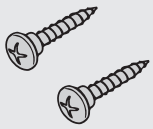
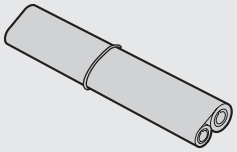
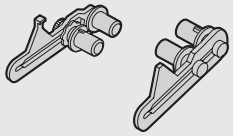
ナンバー・ディスプレイ／キャッチホン・ディスプレイ対応（232~255ページ）

電話に出る前やキャッチホンでかかってきた相手の方の番号を確認できます。また、電話帳に登録している相手先からの電話は、名前を表示したり、呼出音を変えたりすることができます。「ナンバー・ディスプレイ」「キャッチホン・ディスプレイ」サービスはNTTとの契約が必要です。（有料）



商品の構成

このたびは、「普通紙コピーファクシミリ」をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。まず、次のものがすべてそろっているか、確認してください。もし足りない場合やちがうものが入っているときは、お買いあげの販売店にご連絡ください。

親機　1台	原稿ホッパー　1個 	受話器（受話器コード含む）　1個 	子機　1台
充電器(子機用)　1個 	充電池ふた(子機用)　1個 	充電池(子機用)　1個  (白色)	ACアダプター(子機用)　1個 
電話機コード（2m）1本 	充電池(ハンドコピー用)　1個 	記録紙カセットカバー　1個 	記録紙カセット　1個 
子機壁掛け用ネジ　2個 	インクリボン　1個 	カートリッジ　2個 	

●インクリボン1個とカートリッジ2個は、工場出荷時にあらかじめ親機にセットしてあります。
●あらかじめセットされているインクリボンはテスト用であり、別売品のインクリボンに比べて長さが短くなっています。

保証書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1部
取扱説明書・・・・・・・・・・・・・・・・・1冊
かんたん操作ガイド・・・・・・・・・・・・・1部
かんたん取り付けガイド・・・・・・・・・・・1部
子機FAX受信シール　・・・・・・・・・・・・1枚
デモモードのお知らせ・・・・・・・・・・・・1枚
Lモードサービス申込パック・・・・・・・1式
シャープスペースタウン for FAX　ご案内・・1式
普通紙ファクシミリ消耗品のご購入についてのご案内・・1枚
読み取り調整シート・・・・・・・・・・・・・1枚

■ ファクシミリを設置したときは

接続された際に通信状態を確認することができます。巻末の「シャープファクス無料通信テストのご案内」（315〜316ページ）を切り取り、必要事項を必ずご記入のうえ、シャープファクシミリ通信テストセンター（0120−364889）までファクスでお送りください。受信状態を診断して通信結果をお送り致します。（ファクス送信していただく時間帯によっては、返信に数日かかる場合もあります。）

お知らせ

- この製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。（285〜286ページ）
- お客様または第三者がこの製品の使用を誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- この製品は使用誤りや静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき、また故障・修理のときは記憶内容が変化・消失する場合があります。

ご使用の前に知っておいていただきたいこと

ご使用にあたってのお願い

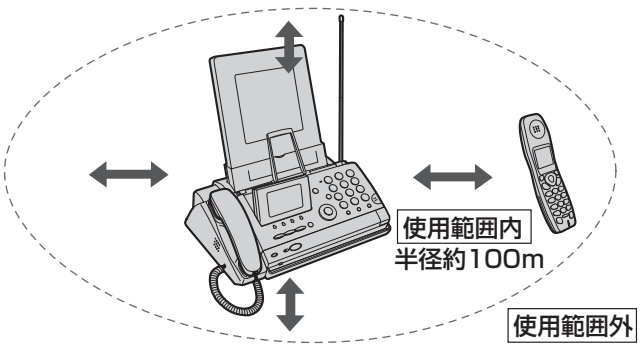
この製品のご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。
ご連絡いただいた日をもって、**「機器使用料」は、不要**となります。
詳しくは、**局番なしの116番（無料）**へお問い合わせください。

この製品を使用できるのは、日本国内のみです。規格などが異なるため海外では使用できません。
This facsimile is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

コードレス子機について

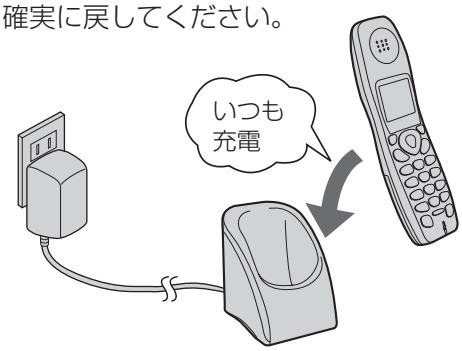
■ 使用範囲を確かめる

子機と親機間の電波の届く距離は、周囲の環境によっても異なりますが、半径約100mです。（直線見通し距離）
内線通話しながら子機を持って移動し、通話ができる範囲をお確かめください。（75～76ページ）



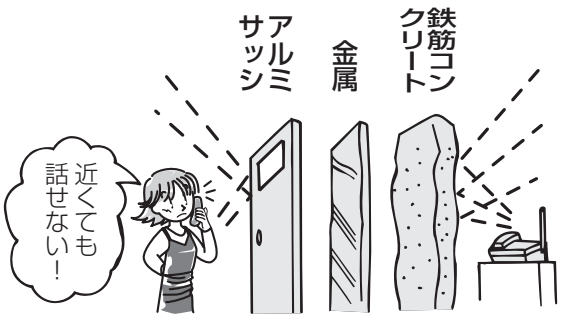
■ 子機はいつも充電器に戻しておく

子機は使わないときでも、いつも充電器に戻しておいてください。充電のしすぎによって、故障することはありません。正常に充電されるよう子機を充電器に確実に戻してください。



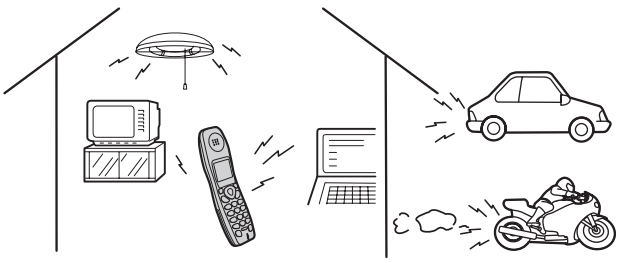
■ 親機と子機の間に障害物のある場所で使わない

マンションなど鉄筋コンクリートの建物内や構造に金属が使われている住宅や大型の金属製家具の近くなどは、電波の届く距離が短くなることがあります。



■ 雑音の入ることがあります

自動車やオートバイが近くを通ったときや、蛍光灯のスイッチを「入」「切」にしたときなど、雑音が入ることがあります。

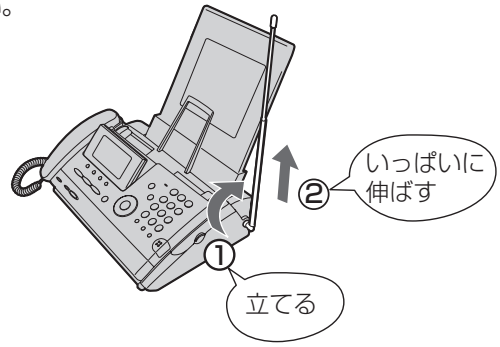


■ “傍受”にご注意ください

この製品は盗聴防止スクランブル機能を搭載していません。
コードレス子機を使っての通話は、電波を利用していますので第三者が故意または偶然に受信することも考えられます。
機密を要する重要な通話には、親機のご利用をおすすめします。
傍受（ぼうじゅ）とは、無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

■ 親機のアンテナは立てて伸ばす

電波の届く距離が短かったり、雑音が入ることがありますので、親機のアンテナは必ず立てて伸ばしてください。

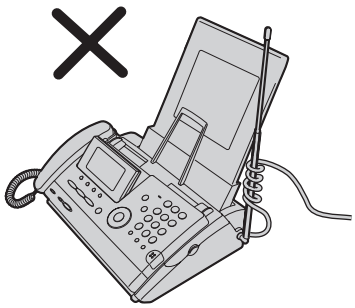


■ 子機の呼出音は、遅れて鳴ります

電話がかかってくると、はじめに親機の呼出音が鳴って、そのあと、少し遅れて子機の呼出音も鳴ります。

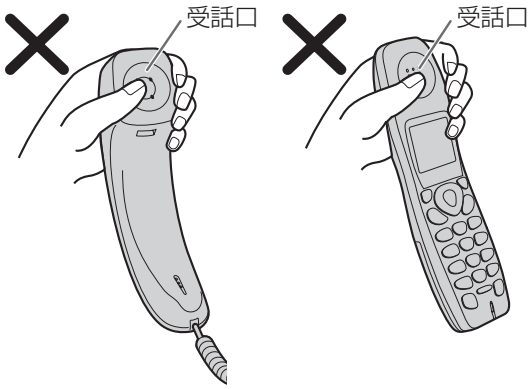
■ アンテナにコードを巻き付けない

親機の電源コードや電話機コード、充電器のACアダプタケーブルをアンテナに巻き付けないでください。着信時に子機の呼出音が鳴らなくなったり、通話時に雑音が入ったりすることがあります。また、アンテナが破損する原因となります。



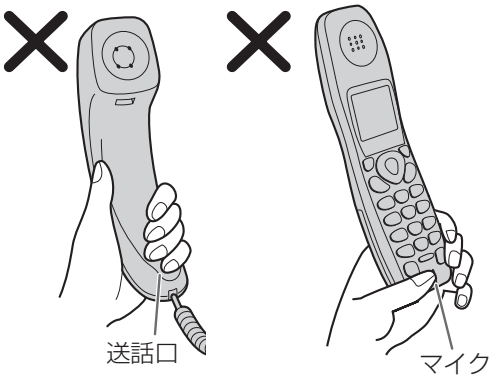
■ 受話口やスピーカーの穴をふさがない

受話口やスピーカーの穴をふさぐと音が聞こえにくくなります。



■ 送話口（マイク）をふさがない

こちらの声が相手の方に聞こえにくくなります。



■ 取り扱いについて

ご近所でコードレス電話機が使われているときは、正しく動作しないことがあります。
こんなときは、一時的に親機をお使いください。

■ 子機や充電器を設置するときは

親機（ファクシミリ本体）や他の増設（付属）子機、PHS／携帯電話の充電器、その他の電気製品などと一緒に置かないでください。（できるだけ離してください。）
子機の呼出音が鳴らなくなることがあります。

内蔵のリチウム電池について

- ●電話帳・発信元名・電話番号・日付／時刻などの登録や設定した内容は、本体に内蔵のリチウム電池で保持されています。
- ●このリチウム電池は、本体の電源コードが差し込まれていないときに消耗します。（何も登録していなくても消耗します。また、電源コードが差し込まれているときはほとんど消耗しません。）
  電池が消耗すると、登録・設定した内容が消えてしまいますので、必ず内容の控えを保管しておくようにお願いします。
- ●リチウム電池の寿命は、連続的に電源コードを抜いた状態で、約 5 年間です。
- ●リチウム電池の交換は、お買いあげの販売店やシャープサービス窓口へご依頼ください。（有料）

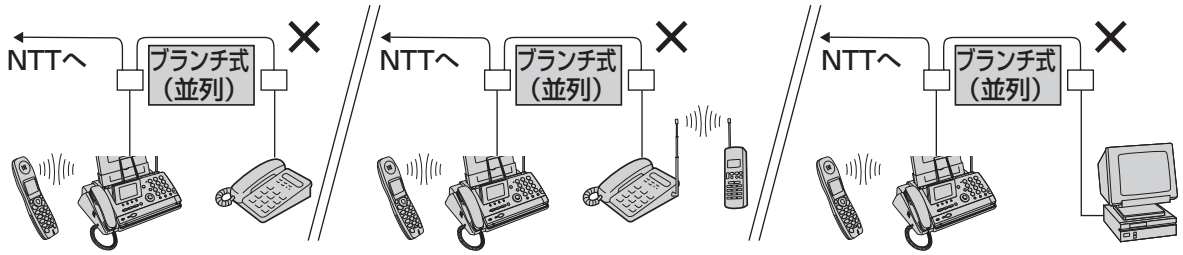
この装置について

●この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

接続について

■ ブランチ式（並列）に接続しない

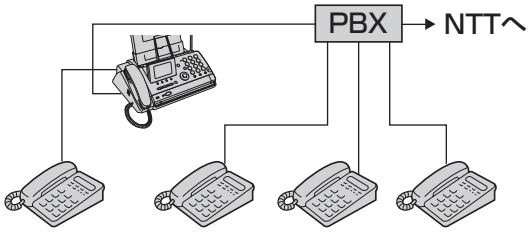
●下図のように、一つの電話回線を２つ以上に分けて並列に接続しないでください。共鳴したり、正常に機能が動作しなくなったりすることがあります。また、他のコードレス電話機と並列に接続すると、電波が干渉し合って子機の呼出音が鳴らないことがあります。同様にパソコン等を並列に接続しないでください。パソコンを並列に接続すると、パソコンでメールやインターネットをお使いのとき電送速度が遅くなることがあります。



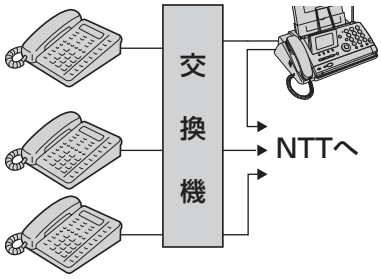
■ 構内交換機（PBX）やビジネスホン、ホームテレホンプロセッサへの接続について

●構内交換機(PBX)やビジネスホン、ホームテレホンプロセッサなどへ接続する場合は工事が必要です。
●お使いになるホームテレホンや交換機などの機種によって接続方法が異なります。
●構内交換機(PBX)やビジネスホン、ホームテレホンプロセッサに接続した場合は、Lモードサービス、ナンバー・ディスプレイサービス、シャープスペースタウン for FAXはご利用になれません。ナンバー・ディスプレイの利用設定を「しない」に設定してお使いください。（46ページ）
また、ノンコールモード（146～147ページ）にして使うこともできません。
●構内交換機(PBX)やビジネスホン、ホームテレホンプロセッサに接続した場合、本機以外の電話機で受けたあとファクスに切り換えることはできません。

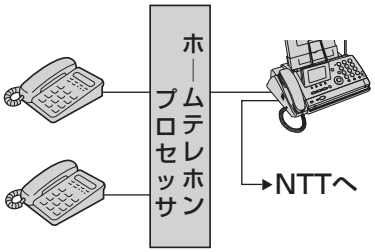
構内交換機(PBX)の場合



ビジネスホンの場合



ホームテレホンプロセッサの場合



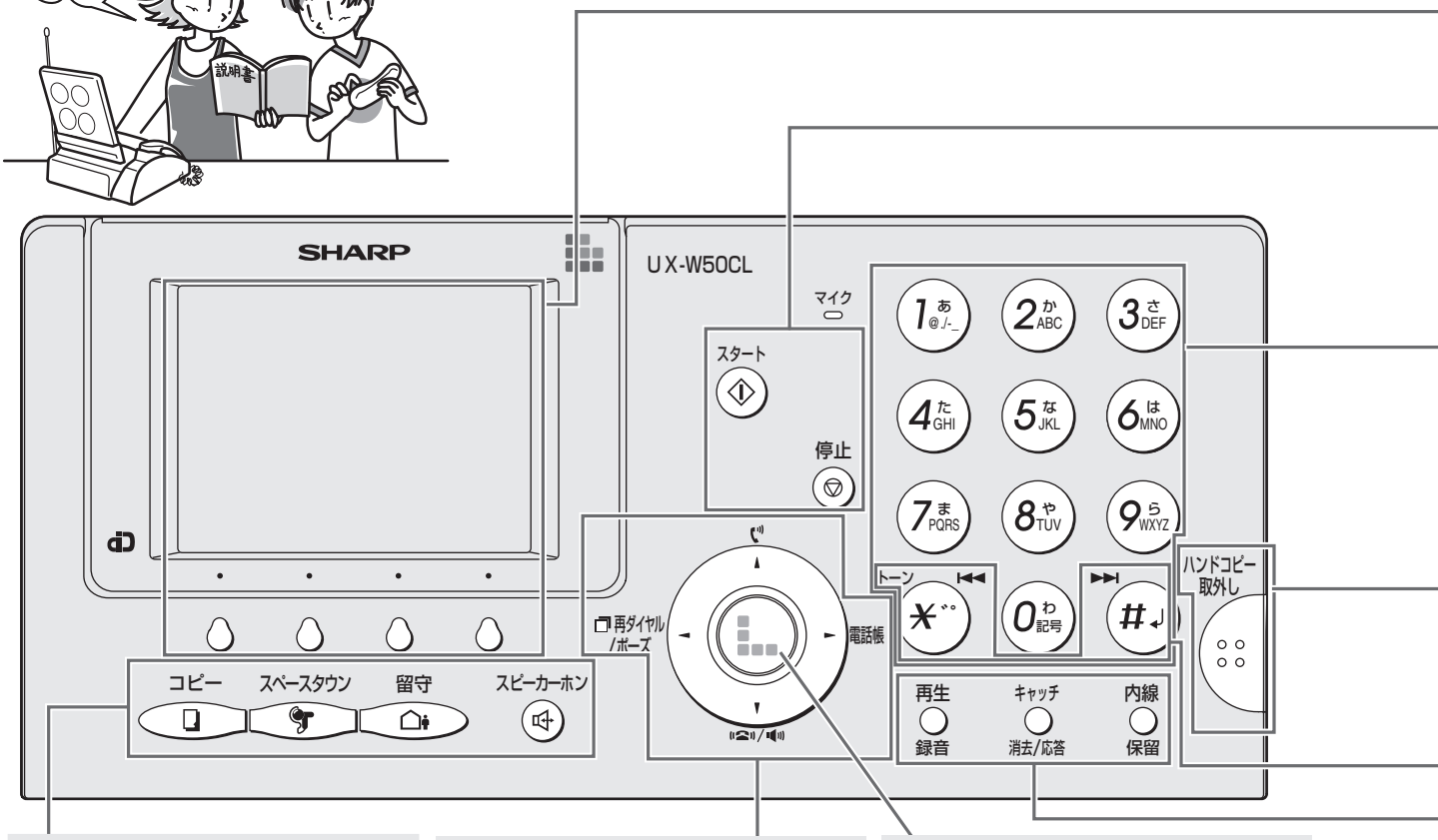
● ビジネスホンとは

電話回線を２本以上持っていて、その回線を多くの電話機で共有できる、内線通話なども可能な簡易交換機です。

● ホームテレホンプロセッサとは

電話回線１本で複数の電話機を設置できて、内線通話などもできる家庭用の簡易交換機です。

各部のなまえとはたらき



コピーボタン（83ページ）
原稿をコピーするときに使います。
また、見てからプリント機能で確認したファクスのメモリー受信データをプリントするときに使います。

スペースタウンボタン（162～175ページ）
情報サービスを取り出すときやインターネット網を利用したダイレクトFAXを利用するときなどに使います。（シャープスペースタウン for FAXをご利用時）

留守ボタン（表示ランプ兼用）（122～123ページ）
外出時、留守番電話にするときに使います。

スピーカーホンボタン（50～51，54～55，96ページ）
受話器を使わずにお話しするときやファクスするときに使います。

マルチファンクションキー
登録や設定する項目を選ぶときや、電話帳で相手の方を選ぶときに使います。ディスプレイに表示した画像をスクロールさせるときにも使います。
また、押す方向によって次の機能を兼用しています。

●上キーは、(音量)（30ページ）
受話音量を変えるときに使います。

●下キーは、/(音量)（30ページ）
呼出音量、スピーカー音量を変えるときに使います。

●左キーは、再ダイヤル／ポーズ（73，101ページ）
同じ相手の方にもう一度ダイヤルするときに使います。
また、電話帳などを登録するときで、待ち時間が必要なときに使います。

●右キーは、電話帳（62，100ページ）
電話帳で相手の方に電話をかけるときに使います。

Lボタン（176～231ページ）
「Lモード」へ接続するときに使います。また、「Lモード」利用時の項目の選択や入力した内容の決定に使います。

液晶ディスプレイ(18ページ)
ソフトボタン（18ページ）

スタートボタン（96，106，288ページ）
ファクスを送るときや受けるときに使います。また、登録操作をするときにも使います。

停止ボタン
操作を途中で止めるときや、送信を途中で止めるときなどに使います。
「Ｌモード」をご利用時には、「Ｌモード」を終了して回線を切断するときに使います。

ダイヤルボタン
電話をかけるときや、文字入力するとき、登録操作を行うときに使います。

ハンドコピー取外しボタン（85ページ）
ハンドコピーを取り外すときに押します。

⏮戻し／トーンボタン（122，124，152ページ）
再生中に録音内容を聞き直したり、１つ前の録音内容を聞いたりするときに使います。
また、ダイヤル回線を利用している場合、プッシュホンサービスを利用するときに使います。

⏭送りボタン（124ページ）
再生中に次の録音内容を聞くときに使います。

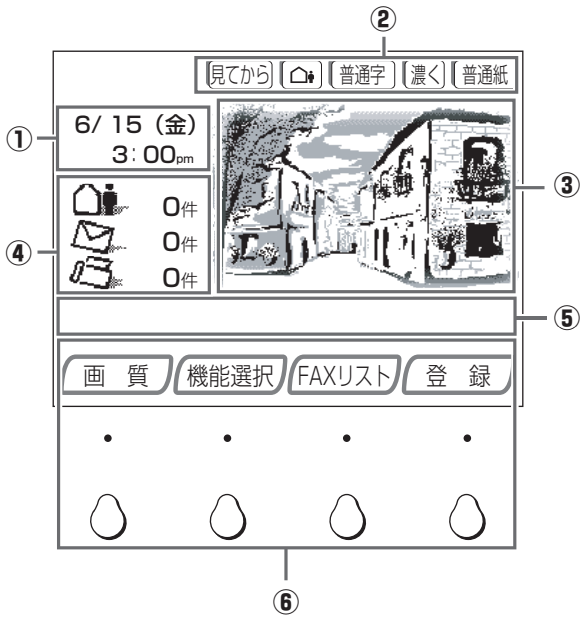
再生／録音ボタン（124，132ページ）
録音内容を再生するときに使います。押すごとに、標準、早聞き（1.5倍速）、遅聞き（0.5倍速）に切り替わります。
また、通話中に録音したりメモを録音したりするときに使います。

キャッチ／消去/応答ボタン（126～127，153ページ）
応答メッセージを録音したり、録音などを消したりするときに使います。また、キャッチホンサービスを利用するときに使います。
「Ｌモード」をご利用時には、画面表示をそのままにして回線を切断するときに使います。

内線／保留ボタン（57，75，77～78ページ）
子機と内線でお話しするときや、相手の方を保留メロディーでお待たせするときに使います。

液晶ディスプレイ

待機画面では、（使用していないときは）は下記のようにファクシミリの状態を表示します。



①日付・時間表示エリア
日付・時刻を表示します。

②設定状態表

・普通紙
記録紙の設定を普通紙に設定しているときに表示します。感熱カット紙に設定を切り替えると「感熱紙」と表示します。

・見てから
ファクス受信をいったんメモリーで受ける設定にしているときに表示します。すぐに記録紙にプリントするように設定すると、「記録紙」と表示します。（メモリー受信116～117ページ）

・
留守モードに設定すると表示します。また、ノンコールモードに設定したときは「ノンコール」と表示します。

・普通字 濃く
原稿の文字の大きさや濃さ、写真などにあわせて画質を設定します。（82ページ）

③キャラクター表示エリア
工場出荷時は「アニメーション」を表示しています。シャープスペースタウンでダウンロードしたデータ（165ページ）やハンドコピーで読み取ったデータや「Lモード」を利用してダウンロードしたデータ（130～131ページ）を表示することができます。

④メモリー状態表示エリア

（留守録音件数表示）
留守録やメモ録音している件数を表示します。

（受信メール件数表示）
「Lモード」のサービス利用時に保存されている受信メールの件数を表示します。

（FAXメモリー受信件数表示）
メモリー受信している件数を表示します。

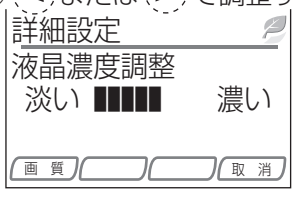
⑤エラー／メッセージ表示エリア
「通信エラーがありました」「原稿が詰まっています」などのエラー表示や「受信データがあります」などのメッセージを表示します。

⑥ソフトボタン表示エリア／ソフトボタン
操作に必要となるボタン名称がディスプレイに表示されますので、表示の下の ○ を押します。（表示部分を押しても動作しません。）

液晶ディスプレイのコントラストを調整することができます。

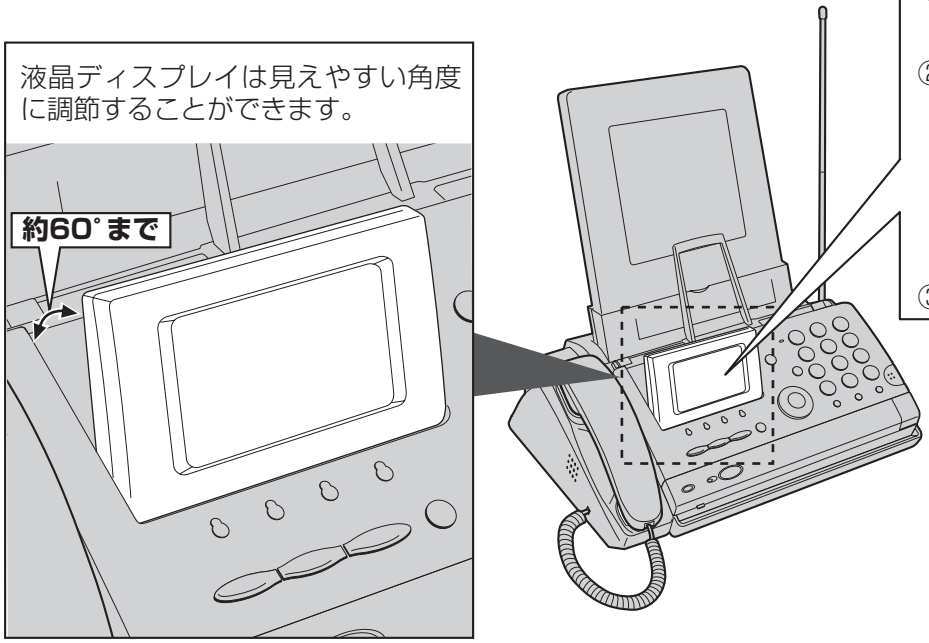
①登録ボタンを押したあと、5 1 と押す

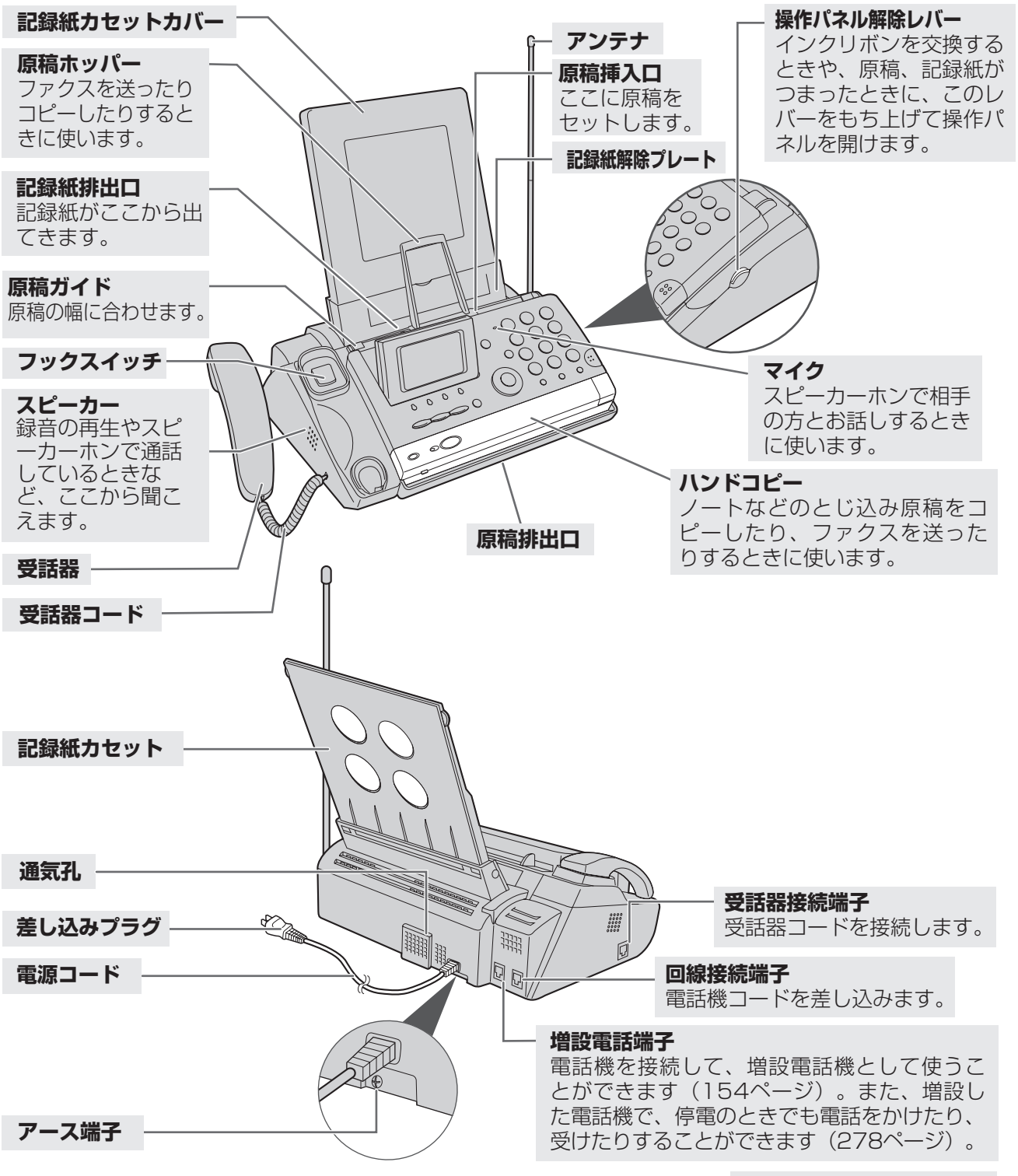
②◀または▶で調整する



③停止を押す

液晶ディスプレイは見えやすい角度に調節することができます。




記録紙カセットカバー
原稿ホッパー
ファクスを送ったりコピーしたりするときに使います。
記録紙排出口
記録紙がここから出てきます。
原稿ガイド
原稿の幅に合わせます。
フックスイッチ
スピーカー
録音の再生やスピーカーホンで通話しているときなど、ここから聞こえます。
受話器
受話器コード
アンテナ
原稿挿入口
ここに原稿をセットします。
記録紙解除プレート
操作パネル解除レバー
インクリボンを交換するときや、原稿、記録紙がつまったときに、このレバーをもち上げて操作パネルを開けます。
マイク
スピーカーホンで相手の方とお話しするときに使います。
ハンドコピー
ノートなどのとじ込み原稿をコピーしたり、ファクスを送ったりするときに使います。
原稿排出口
記録紙カセット
通気孔
差し込みプラグ
電源コード
アース端子
受話器接続端子
受話器コードを接続します。
回線接続端子
電話機コードを差し込みます。
増設電話端子
電話機を接続して、増設電話機として使うことができます（154ページ）。また、増設した電話機で、停電のときでも電話をかけたり、受けたりすることができます（278ページ）。
読み取り/停止、印刷/送信ボタン
ハンドコピーを使って読み取りを始めるときや、読み取りを止めるときに押します。また、ハンドコピーで読み取ったデータをプリントしたり送信したりするときに押します。
メモリーランプ
消去ボタン
ハンドコピーで読み取ったデータを消去するときに使います。
ハンドコピー用充電池ふた
読取画質スイッチ
ハンドコピーで読み取るときの画質を選びます。（文字／写真）

機能（ファクス）ボタン（97，107，144～145ページ）
登録操作をするときに使います。
また、ファクスを送ったり、受けたりするときに使います。

ホットラインダイヤルボタン（72ページ）
ホットラインダイヤルを使用するときに使います。

通話ボタン（表示ランプ兼用）（49，53ページ）
外へ電話をかけるときや受けるときに使います。

ダイヤルボタン（表示ランプ）兼用

5 (戻し）ボタン（125ページ）
再生中に録音内容を聞き直したり、1つ前の録音を聞いたりするときに使います。

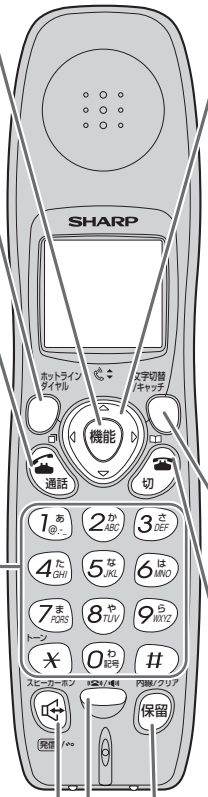
6 (送り）ボタン（125ページ）
再生中に次の録音内容を聞くときに使います。

9 (早聞き）ボタン（125ページ）
録音内容を早く聞くときに使います。（1.5倍速）

トーンボタン（152ページ）
ダイヤル回線を利用しているときで、プッシュホンサービスを利用するときに使います。

スピーカーホン／発信/゛゜（濁点、半濁点）ボタン（表示ランプ兼用）
子機を置いたまま、ダイヤルするときに使います。
また、文字入力するときに「゛」や「゜」を入力するときに使います。

（音量）ボタン（31ページ）
呼出音量やスピーカー音量を変えるときに使います。



マルチファンクションキー
電話帳で相手の方を選ぶときや、登録操作をするときに使います。
また、押す方向によって、次の機能を兼用しています。

●上下キーは、（音量）（31ページ）
お話し中に、受話音量を変えるときに使います。

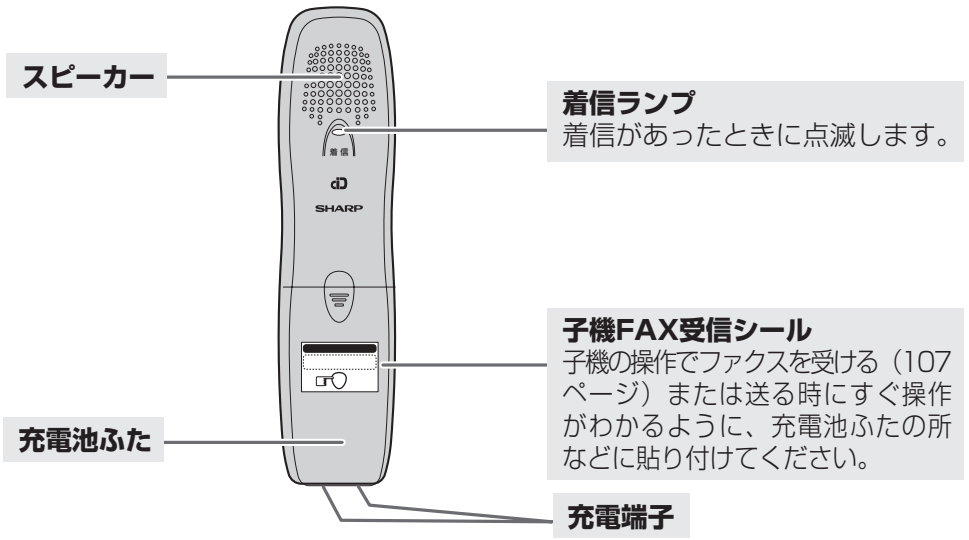
●左キーは、（再ダイヤル）（74，103，238，240，244ページ）
もう一度、電話をかけ直すときに使います。
ナンバー・ディスプレイサービスをご利用時は、着信した相手の方の番号や名前を表示できます。
また、電話帳などを登録するときで、待ち時間（ポーズ）が必要なときに使います。

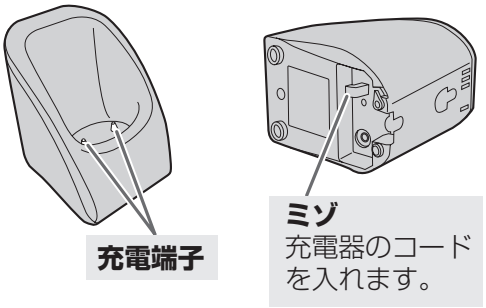
●右キーは、（電話帳）（64，69ページ）
電話帳に登録するときなどに使います。

文字切替／キャッチボタン（39，43，153ページ）
文字を入力するとき、カナ入力モードや英字入力モードに切り替えるときに使います。
また、キャッチホンサービスを利用するときに使います。

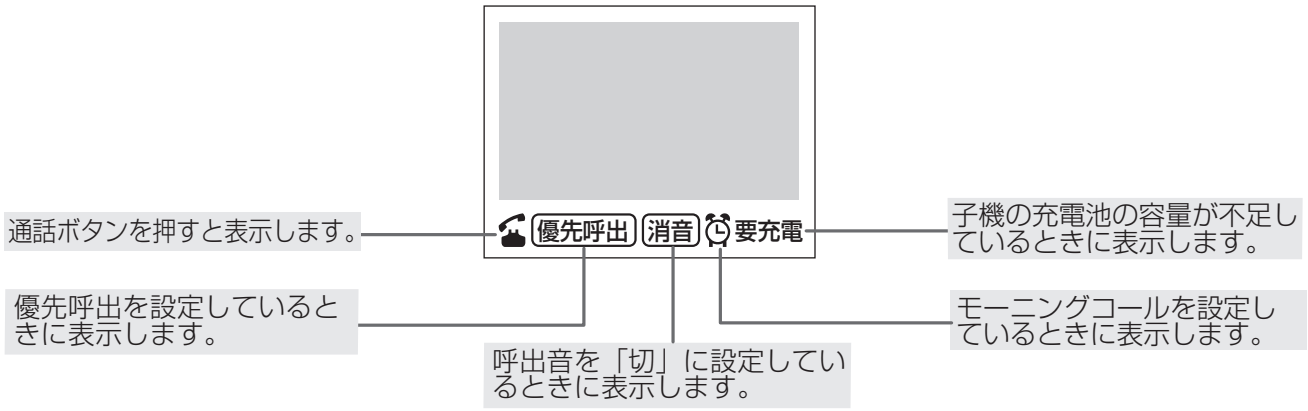
切ボタン（表示ランプ兼用）
通話をやめるとき、また、登録操作を途中でまちがえたときや、やめるときに使います。

保留／内線/クリアボタン（76～77，79ページ）
通話中に、相手の方をお待たせするときや、親機と内線通話をするときに使います。





液晶ディスプレイ

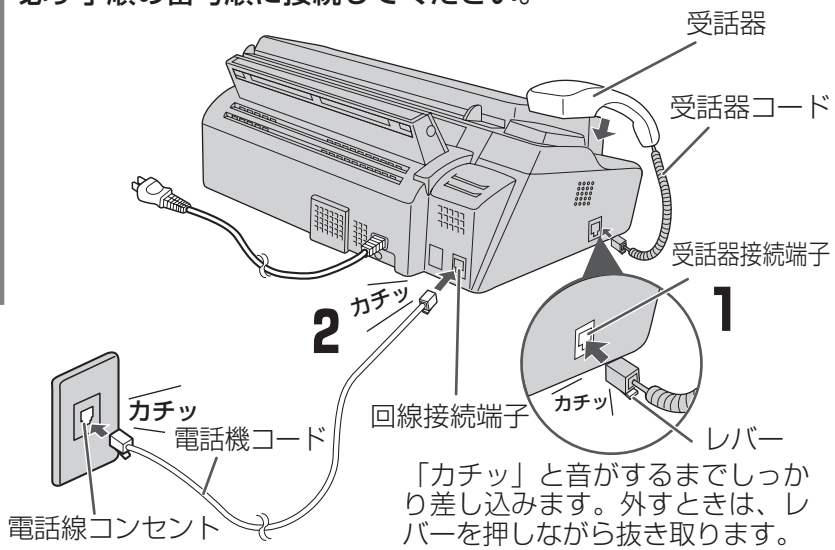


■ 液晶ディスプレイのコントラストを調整するときは（144～145ページ）

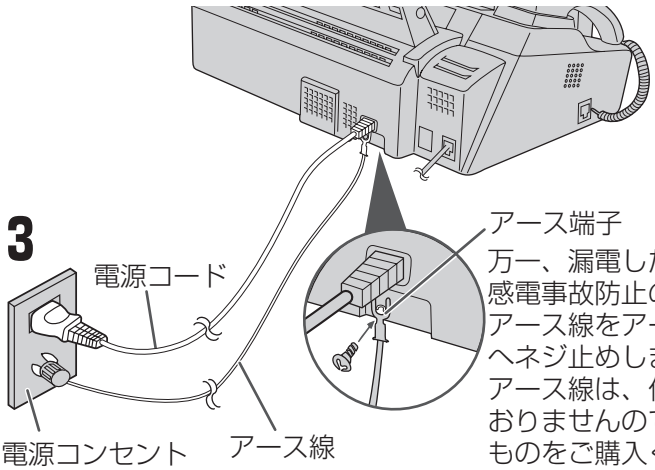
親機を接続する

親機を接続する

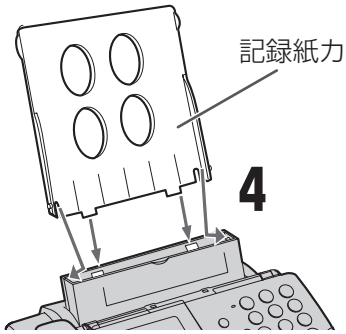
必ず手順の番号順に接続してください。

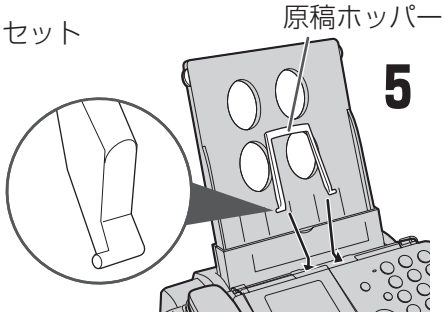


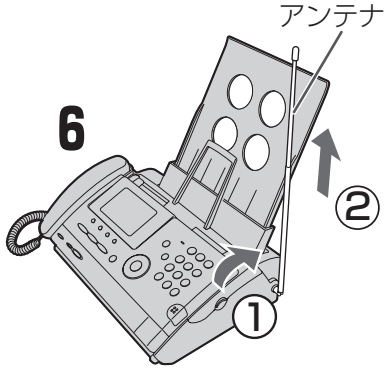
「カチッ」と音がするまでしっかり差し込みます。外すときは、レバーを押しながら抜き取ります。



万一、漏電した場合の感電事故防止のためのアース線をアース端子へネジ止めします。アース線は、付属しておりませんので市販のものをご購入ください。







1 付属の受話器コードを、受話器接続端子に差し込み、受話器を受話器台の上に置く

2 付属の電話機コードを、回線接続端子およびご家庭の電話線コンセントに差し込む

3 電源コードのプラグを電源コンセント（AC 100V）に差し込む

- 10PPSの回線以外を自動的に設定します。（回線種別自動設定）
- 10PPSの回線をお使いの方は、「回線種別を変える（合わせる）ときは」（23ページ）の操作で設定してください。

4 記録紙カセットを取り付ける
向きに注意して、図のように取り付けてください。

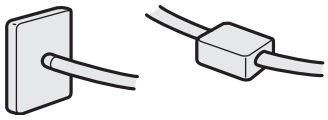
5 原稿ホッパーを取り付ける
図を見て裏表に注意してください。

6 アンテナを立てて伸ばす
アンテナを立てて伸ばさないと、電波の届く距離が短くなります。

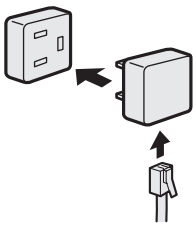
■ 「回線種別選択」と表示されたときは（23ページ）

■ コンセントのタイプについて

●直接配線の場合（ローゼット／プレート）
最寄りのNTT支店・営業所へご相談ください。



● 3ピンプラグ式コンセントの場合
市販のモジュラー付の電話キャップをお買い求めください。



■ 「回線種別選択」と表示されたときは

回線種別自動設定ができませんでした。回線の状態によって自動的に設定できないことがあります。回線種別が合っていないと電話をかけられなかったり、ちがう相手にかかったりすることがあります。
こんなときは (1あ) ～ (3さ) で回線を選んでください。

20PPS ▶ (1あ)
トーン（プッシュホン） ▶ (2か)
10PPS ▶ (3さ)

■ 回線種別を変える（合わせる）ときは

①登録ボタンを押したあと、(1あ) (4た)と押す
②(1あ)～(3さ)で回線を選ぶ

20PPS ▶ (1あ)
トーン（プッシュホン） ▶ (2か)
10PPS ▶ (3さ)

(4た)を押すと20PPSまたは、トーン（プッシュホン）回線を利用しているときは自動的に設定されて待機画面に戻ります。
ただし、10PPS回線を利用しているときでも「20PPS」に設定されます。電話がかけられないときは「10PPS」に設定してください。

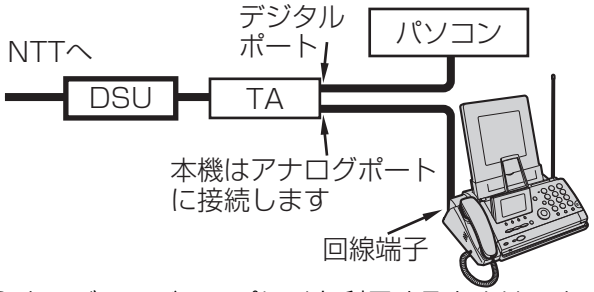
③停止を押す

■ 回線種別とは

電話回線の種類にはダイヤル回線（20PPS、10PPS）とプッシュホン回線（トーン）とがあります。
回線の種類が正しく合っていないと電話をかけることができません。
（いずれの回線を利用しているかは、NTTとの契約によります。）

■ NTTのISDN回線をご利用のときは

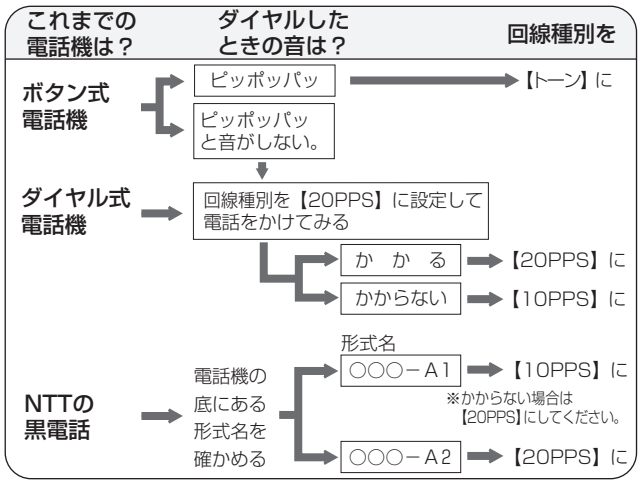
インターネットやパソコン通信にNTTのISDN回線（INSネット64）を利用する場合は、ISDNターミナルアダプター（TA）を用いて本機とパソコンの両方を接続することができます。ISDN回線を利用するには、NTTへ申し込みが必要です。



●ナンバー・ディスプレイを利用するときは、ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプターを使用してください。
●ターミナルアダプターとISDN回線間の接続には、デジタルサービスユニット（DSU）が必要です。あらかじめご用意ください。なお、ターミナルアダプターによっては、DSUが内蔵されている機種もあります。詳しくはターミナルアダプターの説明書をご覧ください。
●本機の回線種別はプッシュ回線（PB）に設定してください。
●「Lモード」をご利用になるときは、「Lモード」に対応したターミナルアダプタ（TA）をご使用ください。

■ 回線の種類がわからないときは

回線の種類は、次の手順で調べることができます。もし、わからないときは、最寄りのNTTの支店、営業所にお問い合わせください。

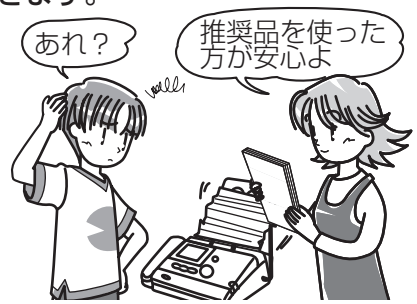


お知らせ

●構内交換機（PBX）、ビジネスホン、ホームテレホンプロセッサなどに接続されている場合は、回線種別が正しく合わないことがあります。
●電源を入れると、ファクシミリ本体の底面等、部分的にあたたかくなりますが、故障ではありません。
●電源コードと電話機コードはできるだけ離して設置してください。雑音が入ることがあります。
●この製品のプラスチック部分には、光の具合によってキズのように見える箇所があります。これはプラスチックの製作過程で生じるもので、構造上および機能上の問題はありません。

記録紙をセットする

1度に50枚まで、普通紙または感熱カット紙をセットできます。



記録紙は、A4サイズの当社推奨品をお使いください。(287ページ)
　普通紙（UX-P10A4）
　感熱カット紙（WP-4AS6、WP-4AS7）

推奨品以外の記録紙やコピー用紙を使用するとプリントがかすれたり、薄くプリントされることがあります。
（ご注文は、お買いあげの販売店へお申し付けください。）

普通紙をセットする

1 記録紙解除プレートを手前にたおす

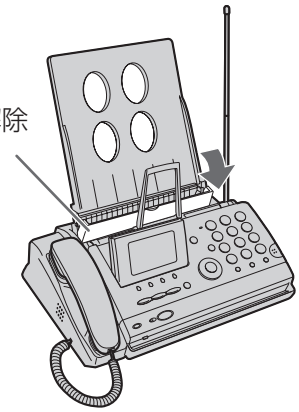
2 プリントする面が裏向きになるように、記録紙カセットに普通紙をセットする（一度に50枚まで）

3 記録紙解除プレートをもとの位置に戻し、記録紙カセットカバーを取り付ける

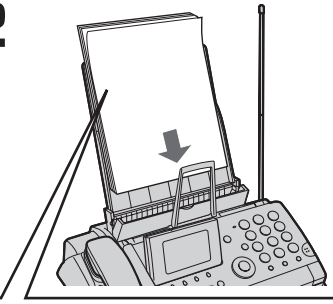
4 登録 5 5 0 1 と押す

5 停止 を押す

1



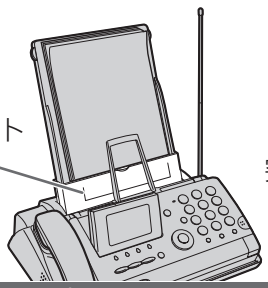
2



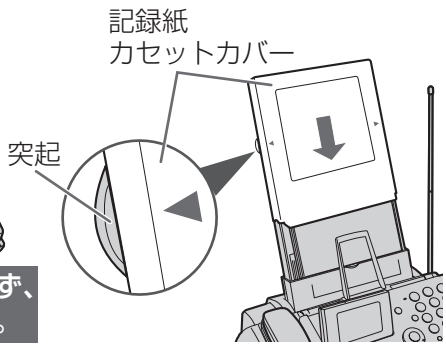
普通紙をよくさばいてからセットしてください。
さばかずにセットすると普通紙が正常に送られないことがあります。

●プリントは裏面になります。

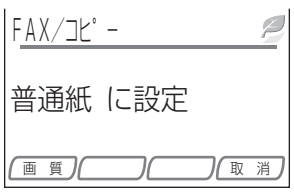
3



「記録紙解除プレート」は必ず、もとの位置に戻してください。



4 ●普通紙モードに設定されます。



●カバーの三角マークとカセットの突起を合わせ、下にスライドさせる。

■ 記録紙を追加するときは
いったん記録紙を全部ぬきとってから、再度セットしてください。
プリント中は、記録紙の追加をしないでください。

お知らせ

●インクリボン1個とカートリッジ2個は、工場出荷時に、あらかじめ親機にセットしています。（あらかじめセットされているインクリボンはテスト用であり、別売品のインクリボンに比べて長さが短くなっています。）

普通紙の代わりに、インクリボンを使わずにプリントできる感熱カット紙（感熱紙）をお使いいただくこともできます。

感熱カット紙（感熱紙）をセットする

1 操作パネル解除レバーを上げて操作パネルを開ける

2 インクリボンとカートリッジを取り出す

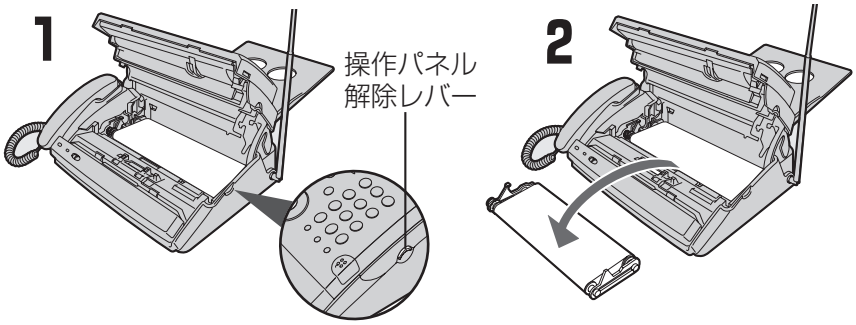
3 操作パネルを閉めて、記録紙解除プレートを手前にたおす

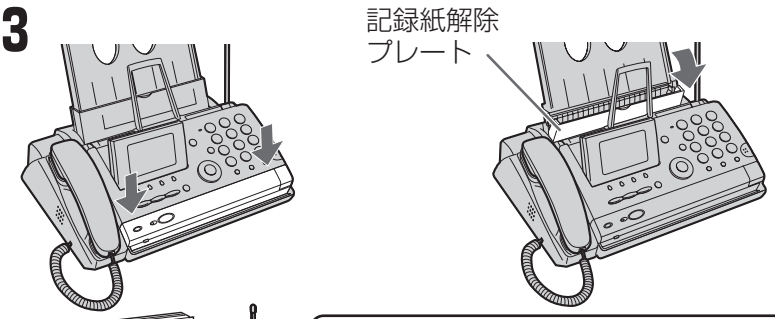
4 プリントする面が裏向きになるように、記録紙カセットに感熱カット紙をセットする（一度に50枚まで）

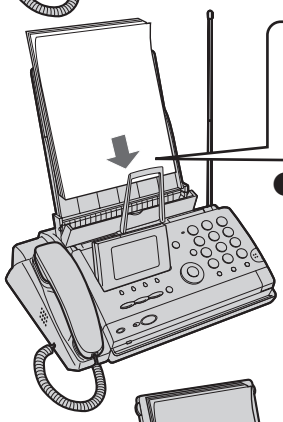
5 記録紙解除プレートをもとの位置に戻し、記録紙カセットカバーを取り付ける

6 登録 5 5 0 1 2 と押す

7 停止 を押す







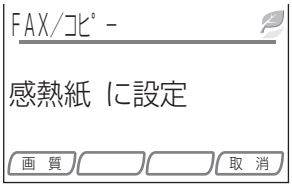
感熱カット紙をよくさばいてからセットしてください。
さばかずにセットすると感熱カット紙が正常に送られないことがあります。

●紙の表裏をまちがえるとプリントできませんのでご注意ください。

「記録紙解除プレート」は必ず、もとの位置に戻してください。

●カバーの三角マークとカセットの突起を合わせ、下にスライドさせます。

6 ●感熱紙モードに設定されます。



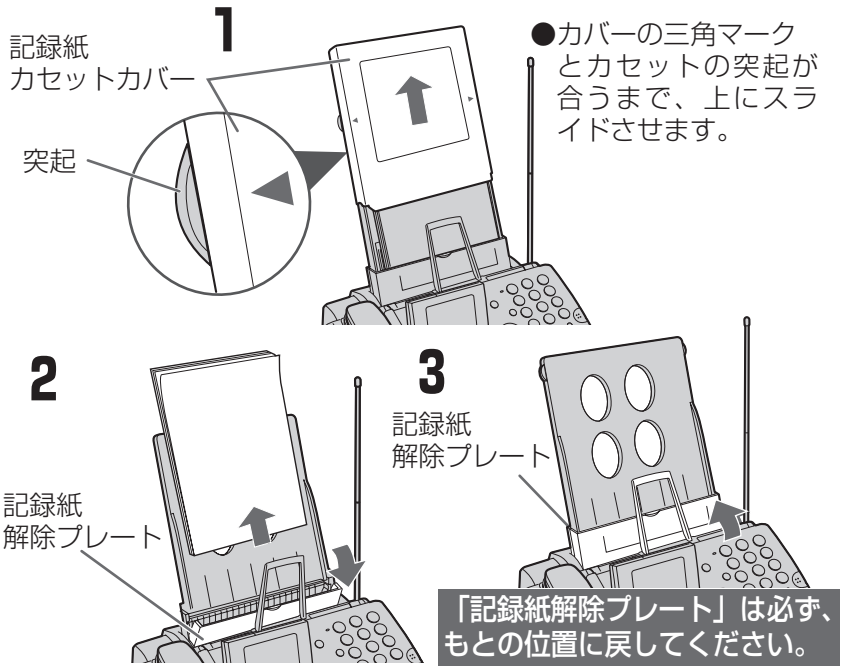
●このあと、待機画面に戻ったときに、「インクリボン外して下さい」と表示されたときは、手順2の操作を行ってインクリボンとカートリッジを取り出してください。

記録紙を取り出す

1 記録紙カセットカバーを取り外す

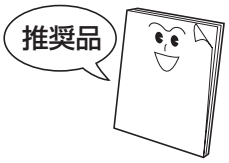
2 記録紙解除プレートを手前にたおして、記録紙を取り出す

3 記録紙解除プレートをもとの位置に戻す



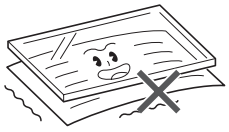
■ 感熱カット紙（感熱紙）について

当社推奨品を使用する



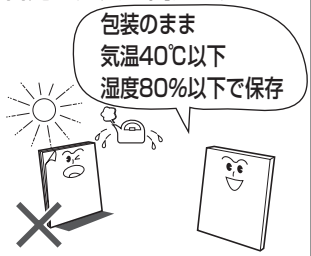
（当社推奨品以外を使用すると記録紙づまり、プリントかすれの原因）

プラスチックや青焼紙等と重ねない



（プリント消え、変色の原因）

日光、湿気、高温を避ける



（変色の原因）

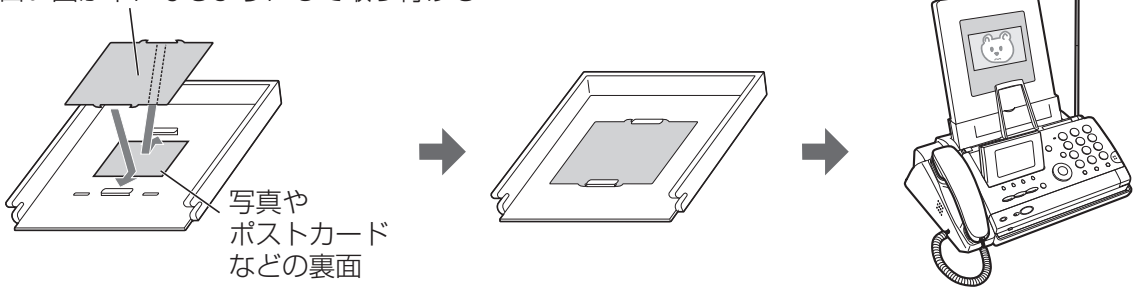
粘着テープ、ボンド等を使わない

（プリント消え、変色の原因）

■ 記録紙カセットカバーにお好きな写真やポストカードなどを入れたいときは

定形ポストカードが縦または横に入る大きさのカードを入れることができます。
（フォトフレーム付）

フォトフレーム押さえを裏返し、
白い面が下になるようにして取り付ける



お知らせ

- しわや折り目のあるもの、反っているもの、また破れている記録紙はセットしないでください。記録紙づまりの原因になります。
- プリント中に記録紙カセットを引き抜かないでください。
- 長期間、記録紙カセットに記録紙をセットしたままにしないでください。記録紙が湿気などを含み、劣化する原因になります。劣化した記録紙をそのままお使いになると、記録紙の給紙不良や記録紙づまりなどの原因になることがあります。

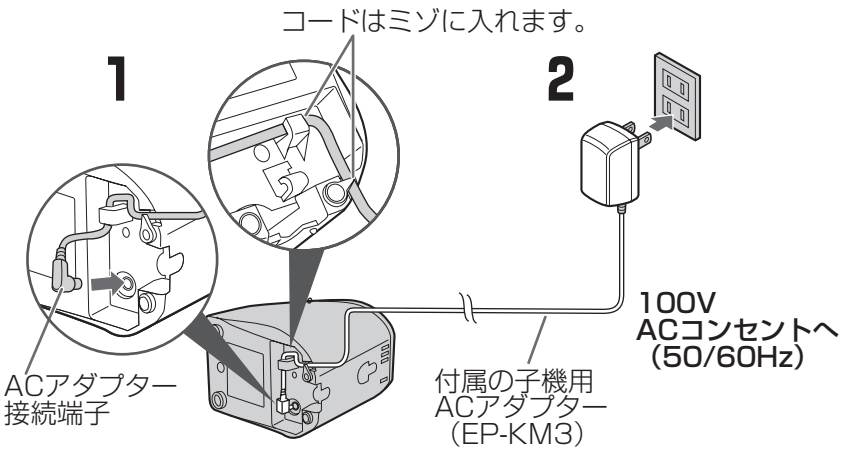
充電器を接続する

充電器をACアダプターと接続して100V電源コンセントに差し込みます。また、子機を壁に掛けて使うこともできます。

充電器を接続する

1 充電器にACアダプターを接続する

2 ACアダプターをコンセントに差し込む

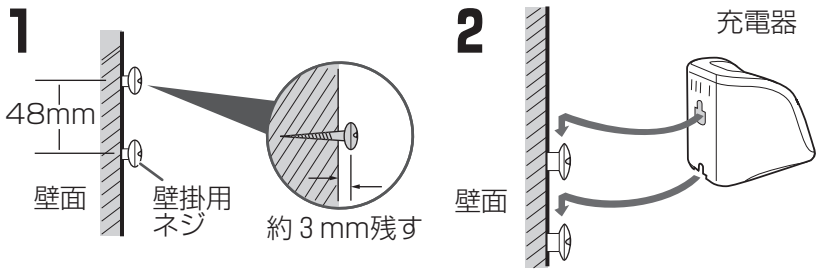


子機を壁に掛けて使う

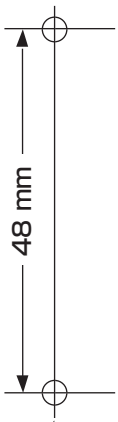
付属の壁掛け用ネジを使います。

1 付属の壁掛け用ネジをしっかりとした壁や柱に取り付ける

2 充電器を取り付ける



●壁や柱に取り付けるときは、しっかりとした、一定の厚み（2cm以上）のある所へ取り付けてください。
●ACアダプターのコードを壁面と充電器の間にはさまないようにしてください。



お知らせ

●充電端子はピンなどの異物でショート（短絡）させないでください。
●子機の充電器は、充電端子が汚れていたり、異物がついていたりすることがあります。いつもきれいにしておいてください。（258ページ）
●充電中は子機や充電器があたたかくなりますが、異常ではありません。
●子機や充電器を設置するときは、親機（ファクシミリ本体）やPHS／携帯電話の充電器、その他の電気製品などと一緒に置かないでください。（できるだけ離してください。）子機の呼出音が鳴らなくなることがあります。

子機を充電する

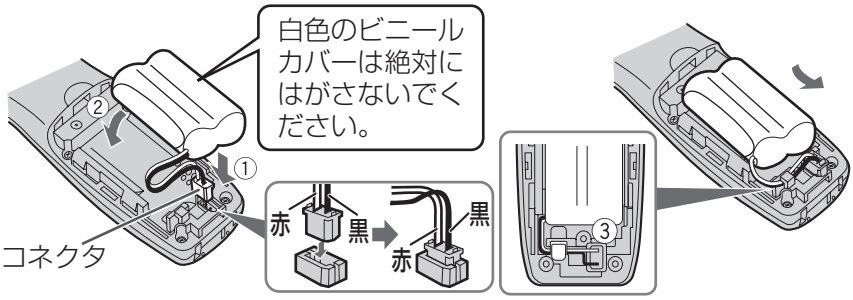
はじめてお使いになるときは、
必ず10時間以上充電してください。
（充電池の容量が少なくなっていることがあります。）　いっぱいに充電すると、約 6 時間、連続して通話できます。

通話時間について
いっぱいに充電した状態（10時間以上）で通話できる時間は

- 通話状態で**約 6 時間**です。
- 通話中や登録操作中に、充電容量がなくなると、“ピッピッ…”と警報音が鳴り、約 1 分後に通話が切れます。（子機のディスプレイに“要充電”が表示されます。）　このときは、いったん電話を切って充電するか、親機に転送してお話しください。
- スピーカーホン通話（51、55ページ）でお話しすると通話できる時間は短くなります。

子機を充電する

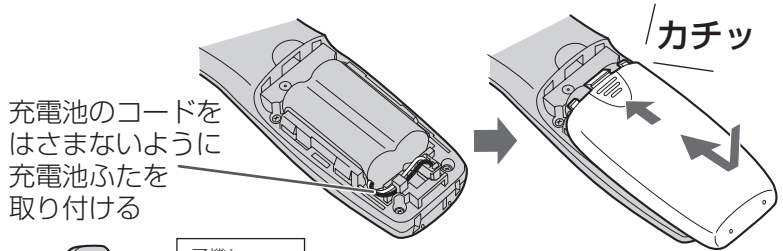
1 充電池のコネクタを接続して充電池を入れる



●コネクタはしっかり差し込んでください。

●充電池のコードをミゾに通して、内側に寄せる。

2 充電池ふたを取り付ける



3 子機を充電器に置く

はじめてお使いになるときは、
切ボタンが点灯してから
10時間以上充電
してください。

子機を充電器に置くだけで、自動的に電源が入り（切ボタン点灯）、充電が始まります。

●子機を使わないときは、いつも充電器に戻してください。
●ボタン面を手前に向けて置いてください。逆向きに置くと充電されません。
●はじめて子機を充電するときは、切ボタンが点灯しても、液晶ディスプレイに“**子機 1**”が表示されるまで時間がかかることがあります。
●充電中は充電器や子機があたたかくなりますが、異常ではありません。
●ディスプレイに表示される“**子機 1**”などの番号は、子機の内線番号です。内線通話やとりつぎ転送するときに使います。（75、78ページ）

充電池の寿命

●充電池にも寿命があります。古くなると充電しても使えなくなります。
●使用頻度にもよりますが、約 2 年程度で使用できなくなります。長時間充電してもすぐに充電池の容量がなくなるときは新しい別売の充電池に交換してください。

お知らせ

●旅行や長期不在により子機を使用されないときは、充電池のコネクタを外しておくことをおすすめします。

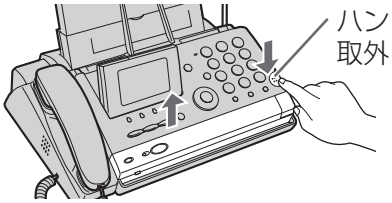
コードレスハンドコピーを充電する

はじめてお使いになるときは、
必ず 6 時間以上充電
してください。（充電池の容量が少なくなっていることがあります。）　いっぱいに充電すると、約30分連続して使用できます。

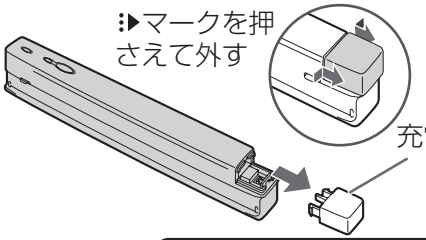
使用時間について
いっぱいに充電した状態（6 時間以上）で連続して使用できる時間は
約30分です。
また、動作待機時間は約90分です。（周囲温度約25℃でお使いになった場合のめやすの時間です。使用条件によって使用時間は異なります。）
充電容量がなくなると、“ピッピッ…”と警告音が鳴り、5分後に電源が切れて、読み取ったデータが消えてしまいます。読み取ったあと、早めにハンドコピーを本体に取り付けてください。

コードレスハンドコピーを充電する

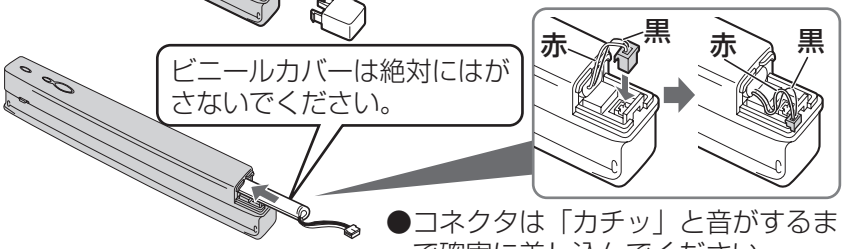
1 ハンドコピー取外しボタンを押してハンドコピーを取り外す



2 ハンドコピーの充電池ふたを取り外す

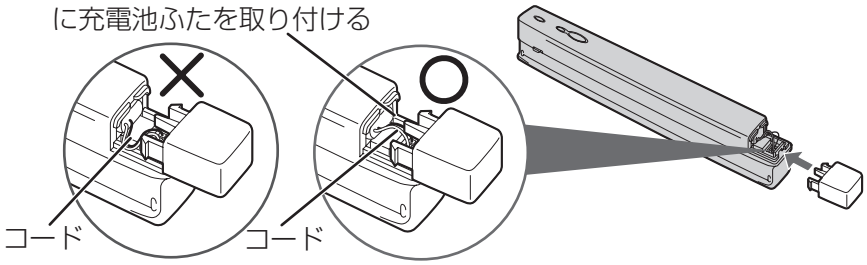


3 充電池を入れてコネクタを接続する

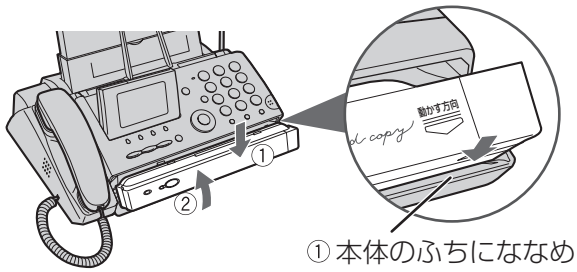


●コネクタは「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。

4 充電池ふたを取り付ける



5 ハンドコピーを本体に取り付ける



ハンドコピーの手前を本体のふちに、ななめに立てて置いて、後ろを押さえる

① 本体のふちにななめに立てる

はじめてお使いになるときは
6 時間以上充電してください。

本体に取り付けるだけで充電が始まります。

●ハンドコピーを使わないときは、いつも本体に戻してください。
●充電中はハンドコピーがあたたかくなる場合がありますが、異常ではありません。

呼出音の大きさや受話音量、スピーカー音量を変える

相手の声が聞きとりにくいときは、受話器やスピーカーから聞こえる音の大きさを変えることができます。

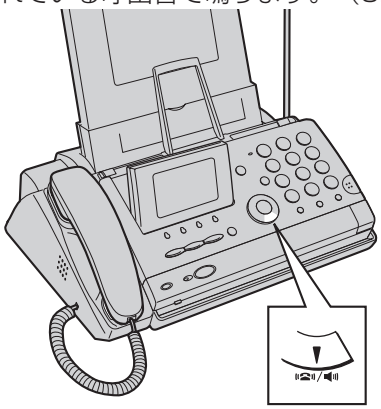
親機の呼出音量を変える

電話がかかってきたときの呼出音の大きさを変えることができます。

受話器を置いた状態で

（音量）を押す

※ボタンを押すたびに5段階に設定できます。
（音を聞きながら設定してください。音は現在設定されている呼出音で鳴ります。（32ページ））



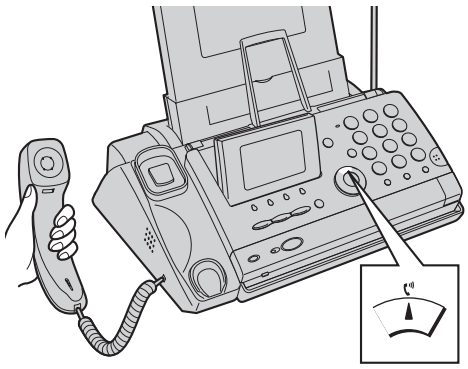
親機の受話音量を変える

通話中に受話器から聞こえる相手の方の声の大きさを変えることができます。

受話器を取って

（音量）を押す

※ボタンを押すたびに5段階に設定できます。

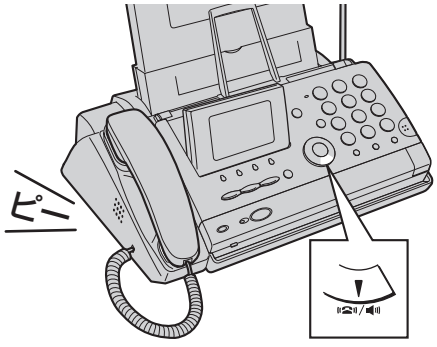


親機の呼出音を鳴らさないようにするときは

呼出音を鳴らさないようにすることができます。
このとき電話の着信は、液晶ディスプレイの点灯でわかります。

受話器を置いた状態で

（音量）を3秒以上（「ピー」音が鳴るまで）押し続ける



再び、呼出音を鳴らすときは、（音量）ボタンを押します。

●「切」にしているときでも、内線やドアホンからの呼出音は鳴ります。

親機のスピーカー音量を変える

スピーカーホンで話しているときや、録音再生時にスピーカーから聞こえる音の大きさ、また、通信時の音声ガイダンス（「ファクスを送信します。」など）の大きさを変えることができます。

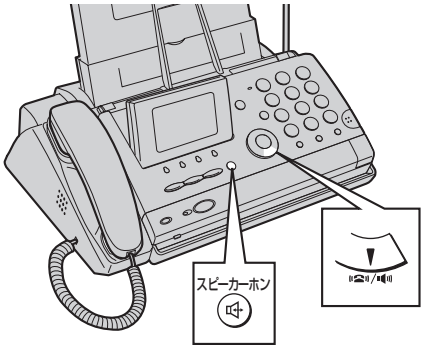
スピーカーホン

を押し、

スピーカーから「ツー」音が聞こえているときに

（音量）を押す

※ボタンを押すたびに5段階に設定できます。



■ 相手の方に聞こえるこちらの声の大きさを変えたいときは（親機送話音量切替　256ページ）

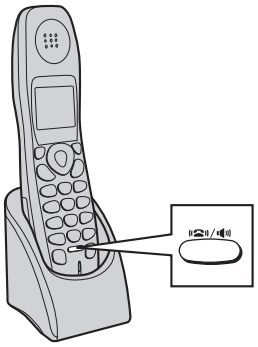
■ 親機のボタンを押したときに鳴る「ピッ」音を鳴らさないようにするときは（キータッチ音　118～119ページ）

子機の呼出音の大きさを変える

電話がかかってきたときの呼出音の大きさを変えることができます。

通話ボタンを消灯させた状態で

（音量）を押す

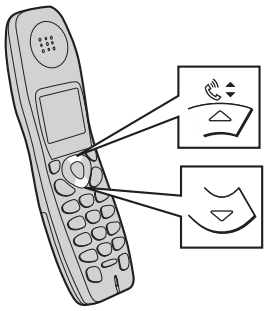


はじめは「大」になっています。
小⟷大の2段階に設定できます。（音を聞きながら設定してください。音は現在設定している呼出音で鳴ります。（33ページ））

子機の受話音量を変える

通話中に受話口から聞こえる相手の方の声の大きさを変えることができます。

通話中に
大きくするときは を押す
小さくするときは を押す

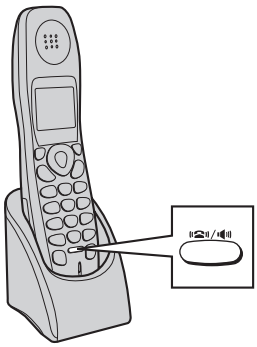


はじめは「標準」になっています。
標準⟷大の2段階に設定できます。（音を聞きながら設定してください。）

子機の呼出音を鳴らさないようにするには

呼出音を鳴らさないようにすることができます。このとき電話の着信は、通話ボタンや着信ランプの点滅でわかります。

通話ボタンを消灯させた状態で
（音量）を2秒以上（ピー音が鳴るまで）押し続ける



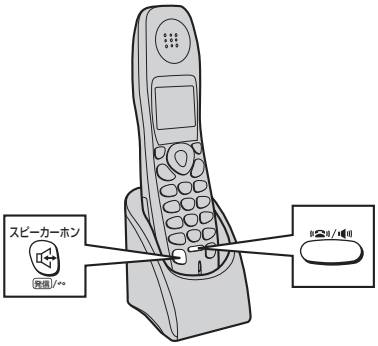
ディスプレイに 消音 が表示されます。
再び呼出音を鳴らすときは（音量）ボタンを押します。
● 消音 に設定しているときでも、内線やドアホンからの呼出音は鳴ります。

子機のスピーカー音量を変える

録音再生時などスピーカーから聞こえる大きさを変えることができます。

スピーカーホン
を押し、

スピーカーから「ツー」音が聞こえているときに
（音量）を押す



はじめは「標準」になっています。
標準⟷大の2段階に設定できます。（音を聞きながら設定してください。）

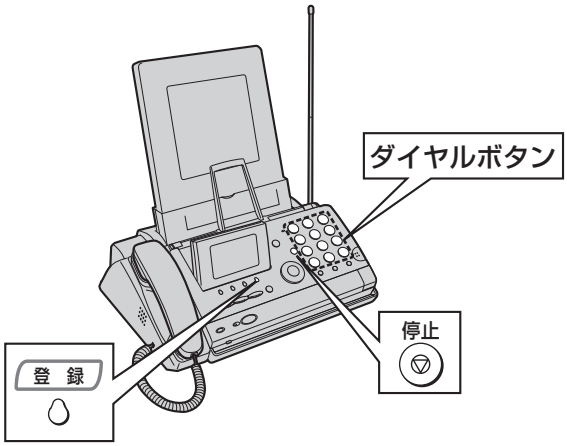
■ 相手の方に聞こえるこちらの声の大きさを変えたいときは（子機送話音量切替　256ページ）

■ 子機の受話音量を全体的にさらに大きくしたいときは（子機受話音量切替　256ページ）

■ 子機のボタンを押したときに鳴る「ピッ」音を鳴らさないようにするときは（キータッチ音出力　144～145ページ）

呼出音の種類を変える

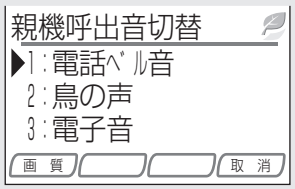
電話がかかってきたときの呼出音の種類を変えることができます。
親機の呼出音は、あらかじめ 6 種類内蔵されています。



親機の呼出音の種類を変える

受話器を置いたまま操作します。

1 登 録 (3 DEF) (2 ABC) **と押す**



2 (1 あ) ～ (9 WXYZ) **で選ぶ**

電話ベル音	(1 あ)	**鳥の声**	(2 か)
電子音	(3 さ)	**春の歌**	(4 た)
トルコ行進曲	(5 な)	**森のくまさん**	(6 は)
ダウンロードメロディ 1	(7 PQRS)	**ダウンロードメロディ 2**	(8 TUV)
ダウンロードメロディ 3	(9 WXYZ)		

3 停止 **を押す**

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 つ前に戻るとき
取消ボタンを押す

- はじめは（工場出荷時は）電話ベル音に設定されています。
- 「L モード」をご使用になり、各サイトから着信メロディーをダウンロードされると (7 PQRS) ～ (9 WXYZ) を押して選ぶことができます。

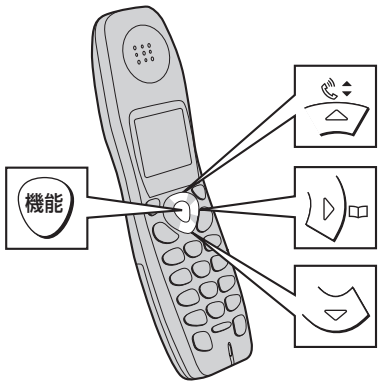
■ 着信時、設定した呼出音と違う呼出音が鳴るときは
（245～247ページ）

■ 設定した親機の呼出音を確認したいときは（親機の呼出音量を変える　30ページ）

お知らせ

- 内線から呼び出しがあったときは、呼出音の種類は変わりません。
- 親機の呼出音を電話ベル音以外に設定していても、プリント中などで、親機が動作しているときや、ノンコール着信に設定しているときは、「電話ベル音」になります。

子機の呼出音はあらかじめ9種類とオリジナルメロディーが1種類内蔵されています。
オリジナルメロディーは自分で作ることができます。
（136～143ページ）



子機の呼出音の種類を変える

1 機能 **を押す**

▶用件再生
優先呼出
着信音色
◀終了　選択▶

2 ▲ **または** ▼ **で「着信音色」を選んだあと、** ▷ **を押す**

▶音色選択
ｵﾘｼﾞﾅﾙﾒﾛﾃﾞｨ
◀戻る　選択▶

3 ▷ **を押す**

着信音色
◆:音色選択
[機能] 決定

4 ▲ **または** ▼ **で呼出音の種類を選んだあと、** 機能 **を押す**

着信音色
設定しました

途中でやめるとき
切ボタンを押す

●現在設定されている呼出音が鳴ります。

●選ぶたびに、呼出音（確認音）が鳴ります。

●子機の呼出音は次の中から選ぶことができます。
「プルルル　プルルル」「ポロロロ　ポロロロ」
「ピロン　ピロン」「ショートメロディー①」
「ショートメロディー②」「展覧会の絵」
「エリーゼのために」「のばら」
「春」「オリジナル」※

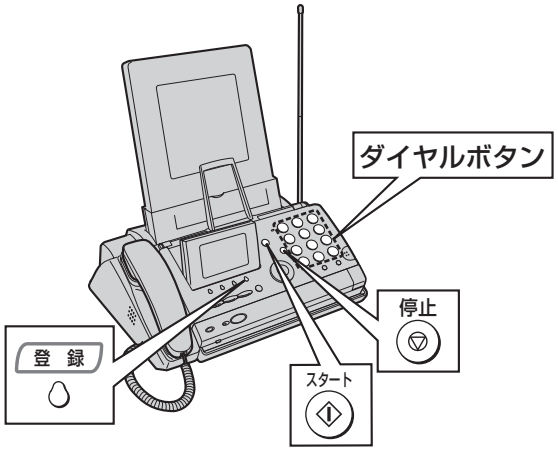
※「自分で呼出音を作る（オリジナルメロディー）」（136～143ページ）で作ると選ぶことができます。（工場出荷時にあらかじめ、サンプルが登録されています。）

お知らせ

●内線から呼び出しがあったときは、呼出音の種類は変わりません。

日付と時刻を合わせる

電源を入れると、ディスプレイに日付と時刻、曜日を表示します。また、ファクスを送ったとき、相手側の記録紙に日付と時刻、曜日をプリントしたり、留守番電話で用件が録音された日付や時刻を確認したりすることもできます。
（親機の日付・時刻は、工場出荷時にあらかじめ設定されています。）



親機の日付と時刻を合わせる

受話器を置いたまま操作します。

1 登 録 1 1 **と押す**

ディスプレイ：日付・時刻
日付 00-11-03
画 質 取 消

2 ダイヤルボタンで日付を入れる

例：0 0 1 1 0 3
2000年 11月 3日

ディスプレイ：日付・時刻
時刻 15:00
画 質 取 消

3 ダイヤルボタンで時刻を入れる

時刻は24時間制で入れます。
例：1 5 0 0
午後3時 00分

ディスプレイ：日付・時刻
11- 3 WED 15:00
[スタート]で決定
画 質 取 消

4 スタート **を押す**

ディスプレイ：初期登録
登録しました
画 質 取 消

5 停止 **を押す**

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
取消ボタンを押す

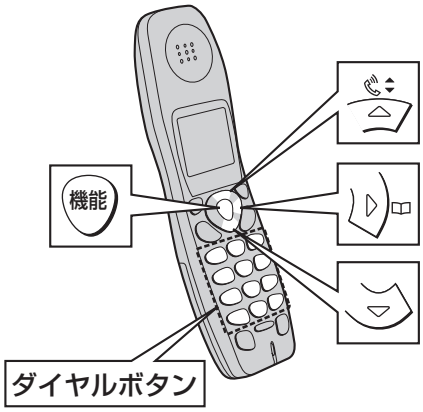
●時刻だけを修正するときは、手順1のあとスタートボタンを押して手順3から操作してください。
●数字を入れまちがえたときは、取消ボタンを押して、もう一度入れ直します。
●西暦年を入れるときは下2桁を入れます。
【年入力】
2000年 ⇒ 00
2001年 ⇒ 01
〜
2092年 ⇒ 92

●0秒から時計がスタートします。

お知らせ

●時刻表示は、目安としてご利用ください。なお、誤差が生じた場合は設定をやり直してください。
（時計精度：平均月差±60秒以内）
●日付が入れば、曜日は自動的に設定されます。年はディスプレイには表示されませんが、送信したファクスにはプリントされます。

子機の時刻を合わせるとディスプレイに時刻を表示します。(親機の時刻を合わせても子機の時刻は合いません。)



子機の時刻を合わせる

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 (機能) **を押す**

▶用件再生
優先呼出
着信音色
◀終了　選択▶

2 ▲ **または** ▼ **で「時計登録」を選んだあと、** ▷ **を押す**

時計登録
00:00
[機能] 決定

3 ダイヤルボタンで時刻を入れる

時刻は24時間制で入れます。
例：1 5 0 0
午後3時　00分

時計登録
15:00
[機能] 決定

4 (機能) **を押す**

時計登録
15:00

途中でやめるとき
切ボタンを押す

- 1ケタのときは、最初「0」をつけて入れます。
  例：0 9 0 8
  午前9時　8分
- 数字を入れまちがえたときは、► または ◄ でまちがえた数字を選んで、もう一度、入力し直します。
- 「ピー」と鳴ったあと待機画面に戻り、0秒から時計がスタートします。

■ 「ピピピピ」と鳴ったときは
時刻として入力できる範囲を越えた数字が入力されています。はじめから入力をやり直してください。

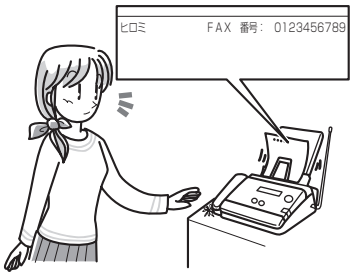
お知らせ

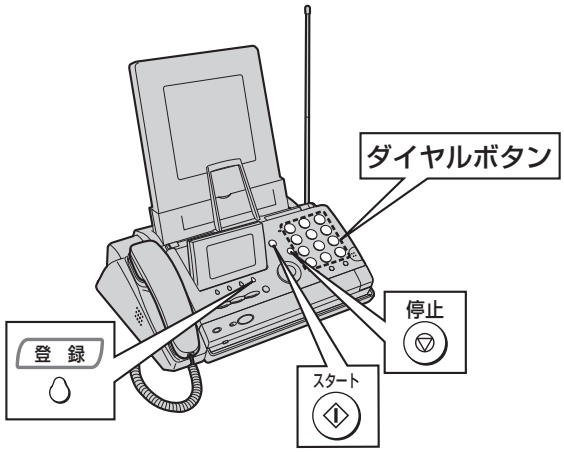
- 充電池のコネクタが外れたり、充電池の容量がなくなると、設定した時刻は消えてしまいます。再度、登録してください。
- 操作の途中で2分以上何もしないでいると、待機画面に戻ります。そのときは、はじめからやり直してください。

あなたの電話番号や名前を登録する

ファクスを送るとき、あなたの電話番号や名前を相手の方に伝えるために登録します。登録した番号や名前は、ファクスを送ったとき、相手の方の記録紙にプリントされます。

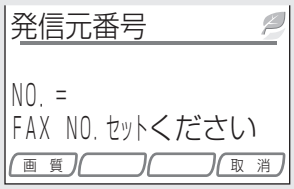
ファクスを受けた相手の方には・・・・・・



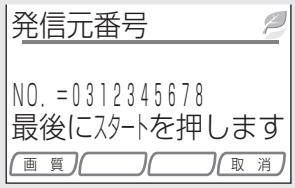


あなたの電話番号を登録する

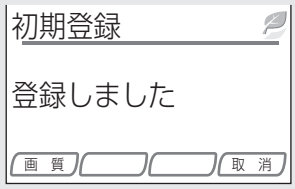
1 登録 (1あ) (2か) (1あ) と**押す**



2 **電話番号を入れる（最大20ケタ）**



3 スタート **を押す**



4 停止 **を押す**

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
取消ボタンを押す

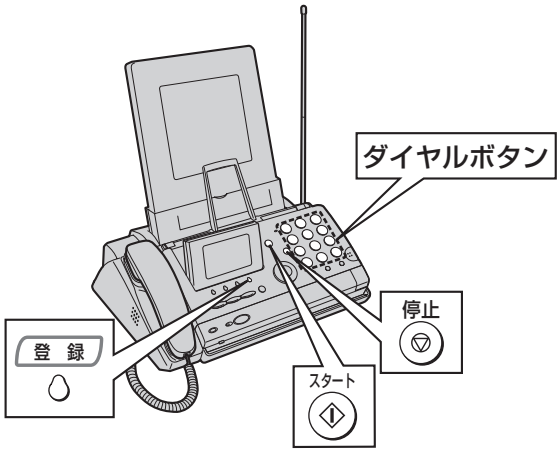
- スペース（空白）を入れるときは (#♩) を押します。
  プラス（＋）を入れるときは (トーン *) を押します。
- 番号を入れまちがえたときは取消ボタンを押して、もう一度入れ直します。

■ 登録した電話番号を消すときは

①登録ボタンを押したあと、(1あ) (2か) (2か) と押す
②スタートボタンを押す
③停止ボタンを押す

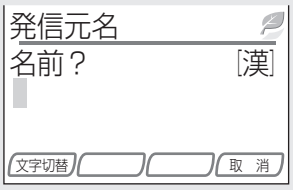
■ 登録した電話番号を変えるときは

一度消してから、もう一度登録します。



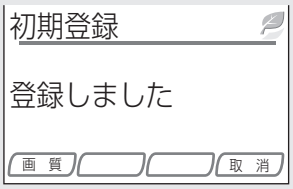
あなたの名前を登録する

1 登録 1 3 1 **と押す**



2 **名前を入れる（最大全角12文字／半角24文字）（38〜42ページ）**

3 スタート **を押す**



4 停止 **を押す**

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
取消ボタンを押す

■ 登録した名前を消すときは
①登録ボタンを押したあと、 1 3 2 と押す
②スタートボタンを押す
③停止ボタンを押す

■ 登録した名前を変えるときは
一度消してから、もう一度登録します。

文字入力のしかた

ファクシミリ本体にあなたの名前や電話帳に名前を登録するときはダイヤルボタンを使って入力します。
文字切替ボタンを使うと入力する文字の種類を替えることができます。

文字入力するときの流れ

■全角の「ひらがな」「漢字」を入力するとき

親機

文字切替 で［漢］を選ぶ → ひらがなを入力する → 漢字などに変換するときは 変換 を押して選ぶ（▲または▼で選ぶこともできます。） → 採用 を押して文字を採用する（スタート または で採用することもできます。）

子機

文字切替/キャッチ で［漢］を選ぶ → ひらがなを入力する → 漢字などに変換するときは または で選ぶ → 機能 を押して文字を採用する

■全角の「カタカナ」「英字」「数字」、半角の「カタカナ」「英字」「数字」を入力するとき

親機

文字切替 で文字の種類を選ぶ → 文字を入力する

子機

文字切替/キャッチ で文字の種類を選ぶ → 文字を入力する

■区点コードを使って入力するとき

親機

文字切替 で［区点］を選ぶ → 292～303ページの区点コード表より4桁の区点コードを入力する

子機

文字切替/キャッチ で［区点］を選ぶ → 292～303ページの区点コード表より4桁の区点コードを入力する

文字の種類を選ぶ

文字切替ボタンを押すたびに切り替わります。

親機のとき

文字切替 を押す

子機のとき

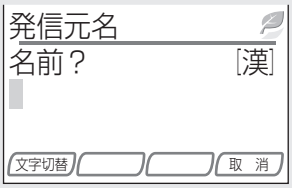
を押す

→[漢] ひらがなの全角を表示します。漢字にするときはひらがなを変換して入力します。
↓
[カ] カタカナの全角を表示します。
↓
[英] 英字の全角を表示します。
↓
[数] 数字の全角を表示します。
↓
半[カ] カタカナの半角を表示します。
↓
半[英] 英字の半角を表示します。
↓
半[数] 数字の半角を表示します。
↓
[区点] 4ケタの数字（区点コード）を入力すると、区点コード一覧表（292～303ページ）に示す文字（記号、数字、漢字）が全角で入力できます。

「池田」と入力するときは次のように入力します。

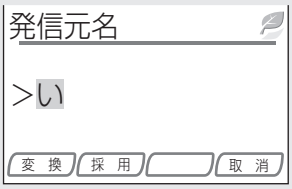
親機で文字入力する（例）

1 文字切替 **で文字の種類を選ぶ（39ページ）**



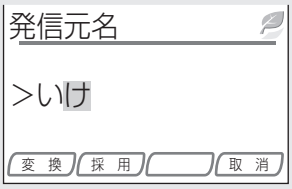
●はじめ、電話帳に登録するときや発信元名を登録するときは、［漢］になっています。

2 1 を 2 回押す



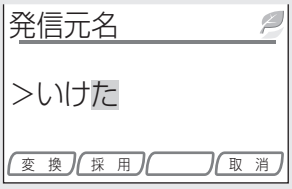
●くり返して押すと
あ→い→う→え→お→ぁ→ぃ→ぅ→ぇ→お
の順に切り替わります。

3 2 を 4 回押す



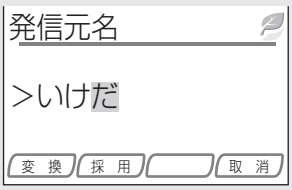
●同じボタンを使って入力する文字（例：「あ」と「え」、「わ」と「ー（長音）」など）を続けて入力するときは 1 文字目を入力したあと、▶ を押して、カーソルを移動してから 2 文字目を入力します。

4 4 を 1 回押す

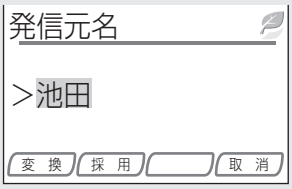


●L モードサービスの送信メール本文作成中に、#↵（改行）を押すと、改行することができます。（［漢］モードで入力中は文字を採用してから #↵（改行）を押します。）
また、▶ を押してカーソルを移動して、文字を入力すると、その間に半角スペースが入ります。

5 ＊ を押す

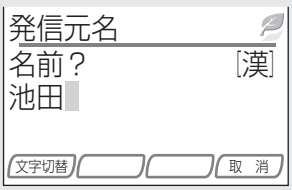


6 変 換 **を押して「池田」を選ぶ**



●ボタンを押すたびに切り替わります。
● ▲ または ▼ で選ぶこともできます。

7 採 用 **を押す**



●文字を採用します。
●スタートボタンで採用することもできます。
●続けて文字を入力するときは手順 1 ～ 7 をくり返し操作します。

■親機　文字入力一覧表

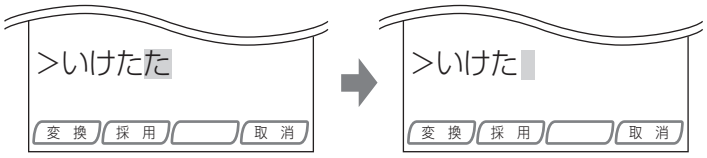
入力モード / 入力ボタン	全角 ひらがな [漢]	全角 カタカナ [カナ]	全角 英字 [英]	全角 数字 [数]	半角 カタカナ(※1) 半[カナ]	半角 英字(※2) 半[英]	半角 数字 半[数]	全角 区点コード [区点]
1 あ @/-_	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ	@ . ／ー＿	1	ｱｲｳｴｵ ｧｨｩｪｫ	@./-_	1	（292～303ページ）
2 か ABC	かきくけこ	カキクケコ	ＡＢＣ ａｂｃ	2	ｶｷｸｹｺ	abc ABC	2	
3 さ DEF	さしすせそ	サシスセソ	ＤＥＦ ｄｅｆ	3	ｻｼｽｾｿ	def DEF	3	
4 た GHI	たちつてと っ	タチツテト ッ	ＧＨＩ ｇｈｉ	4	ﾀﾁﾂﾃﾄ ｯ	ghi GHI	4	
5 な JKL	なにぬねの	ナニヌネノ	ＪＫＬ ｊｋｌ	5	ﾅﾆﾇﾈﾉ	jkl JKL	5	
6 は MNO	はひふへほ	ハヒフヘホ	ＭＮＯ ｍｎｏ	6	ﾊﾋﾌﾍﾎ	mno MNO	6	
7 ま PQRS	まみむめも	マミムメモ	ＰＱＲＳ ｐｑｒｓ	7	ﾏﾐﾑﾒﾓ	pqrs PQRS	7	
8 や TUV	やゆよ ゃゅょ	ヤユヨ ャュョ	ＴＵＶ ｔｕｖ	8	ﾔﾕﾖ ｬｭｮ	tuv TUV	8	
9 ら WXYZ	らりるれろ	ラリルレロ	ＷＸＹＺ ｗｘｙｚ	9	ﾗﾘﾙﾚﾛ	wxyz WXYZ	9	
0 わ 記号	わ を ん ー □(スペース) 。、	ワヲン ー □(スペース) 。、	，：！？＆ ／（）［］｛｝ □（スペース）	0	ﾜ ｦ ﾝ ｰ □(スペース)	※3	0	
トーン ＊	濁点/半濁点		無効	＊	濁点/ 半濁点	無効	＊	無効
#	※4			#	※4		#	※4
再ダイヤル/ポーズ / 電話帳	カーソル左右移動							
	かな漢字変換	メール本文入力中、カーソル上下移動						
変換	かな漢字変換	無効（非表示）						
取消 / クリア	カーソル上の１文字を消去							
文字切替	入力モード変換							

（※１）：半角カタカナは、電話帳の登録時や発信元名、「Ｌモード」で使えます。
（※２）：電話帳や発信元名の登録時は、小文字は使えません。
（※３）：電話帳の登録時と発信元名登録時は、, : ! ? & / ( ) [ ] 半角スペースの順に表示されます。
メールの宛先や題名、本文入力中は、
~, : ; ! ? & ¥ $ % + = | " ' ^ ( ) < > [ ] { } @./-_ 半角スペースの順に表示されます。
（※４）：Ｌモードサービスの送信メールの本文入力時のみ ↵（改行）します。

親機の文字入力について

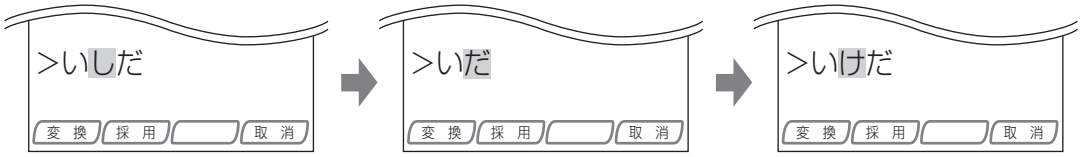
■ 文字を消すには

カーソルの１つ前が消えます。
（カーソルが文字の上にあるときは、その文字が消えます。）
取消ボタンを押す



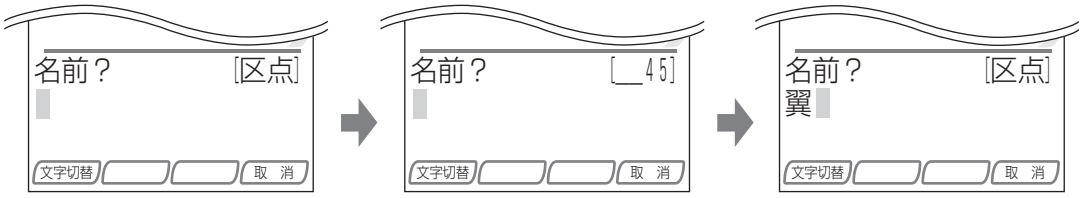
■ 文字を入れ直すには

①訂正したい文字を◄または►で選ぶ　②取消ボタンを押して文字を消す　③ダイヤルボタンで入れる（文字の種類を替えるときは、文字切替ボタンを押す。［漢］モードのときは、入力後に採用ボタンを押してから文字切替ボタンで切り替える）



■ 区点コードで文字を入れるときは

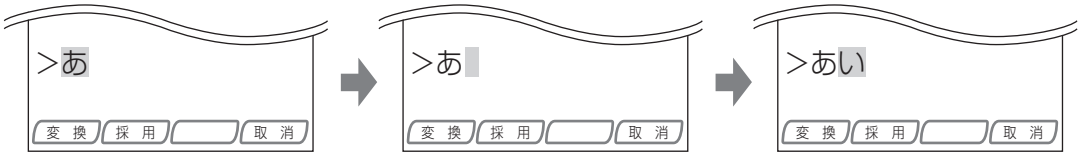
区点コード一覧表を見ながら、ダイヤルボタンで４ケタの数字を入れます。（292～303ページ）
（例）区点コード：4567の「翼」を入れる



■ 同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力するときは

必ず►を押してカーソルを移動させてから入力します。
（例）「あい」を入れる

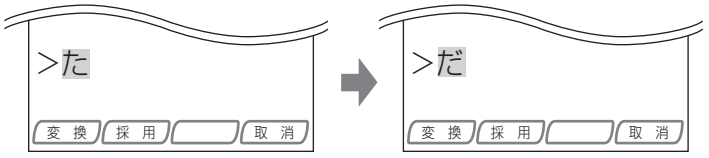
①(1あ)を押す「あ」　②►を押す　③(1あ)を２回押す「い」



■ 濁点（゛）や半濁点（゜）をつけるときは

濁点（゛）や半濁点（゜）をつけたい文字を入れたあと、次の操作を行います。

(*゛)を押す



●くり返し押すと（゛）や（゜）が切り替わります。

■ スペースを入力するときは

►を必要な分だけ押します。１回押せば半角分のスペースが入ります。
（［漢］モードのときは採用ボタンを押して、文字を採用してから►を必要な分だけ押してください。）

■ 改行するときは（「Ｌモード」でメール本文作成中のみ）

(#↵)を押す
（［漢］モードのときは採用ボタンを押して、文字を採用してから(#↵)を押してください。）

子機で文字入力する（例）

1 文字切替/キャッチ **で文字の種類を選ぶ**
（39ページ）

名前?　［漢］
［機能］決定

●はじめ、電話帳に登録するときや子機使用者表示を登録するときは［漢］になっています。使用する目的によって異なります。

2 (1 あ) **を2回押す**

＞い
◆変換

●繰り返して押すと
あ→い→う→え→お→ぁ→ぃ→ぅ→ぇ→ぉ
の順に切り替わります。

3 (2 か ABC) **を4回押す**

＞いけ
◆変換

●同じボタンを使って入力する文字（例：「あ」と「え」、「わ」と「ー（長音）」など）を続けて入力するときは1文字目を入力したあと、(▶) を押して、カーソルを移動してから2文字目を入力します。

4 (4 た GHI) **を1回押す**

＞いけた
◆変換

●(▶) を押してカーソルを移動して文字を入力すると、その間に半角スペースが入ります。

5 スピーカーホン **を押す**

＞いけだ
◆変換

6 (△) **または** (▽) **で**
「池田」を選ぶ

＞池田
◆変換　007

7 (機能) **を押す**

名前　［漢］
池田
［機能］決定

●文字を採用します。
●続けて文字を入力するときは手順1～7をくり返し操作します。

■ 変換を取り消すときは
保留ボタンを押します。

■子機　文字入力一覧表

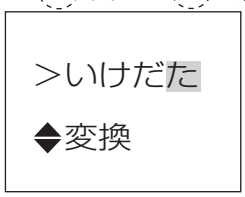
入力モード / 入力ボタン	全角 ひらがな[漢]	全角 カタカナ[ｶﾅ]	全角 英字[英]	全角 数字[数]	半角 カタカナ半[ｶﾅ]	半角 英字(※)半[英]	半角 数字半[数]	全角 区点コード[区点]
1 あ @.-_	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ	@ . ー＿	1	ｱｲｳｴｵ ｧｨｩｪｫ	@ . -_	1	（292～303ページ）
2 か ABC	かきくけこ	カキクケコ	ＡＢＣ ａｂｃ	2	ｶｷｸｹｺ	ABC	2	
3 さ DEF	さしすせそ	サシスセソ	ＤＥＦ ｄｅｆ	3	ｻｼｽｾｿ	DEF	3	
4 た GHI	たちつてと っ	タチツテト ッ	ＧＨＩ ｇｈｉ	4	ﾀﾁﾂﾃﾄ ｯ	GHI	4	
5 な JKL	なにぬねの	ナニヌネノ	ＪＫＬ ｊｋｌ	5	ﾅﾆﾇﾈﾉ	JKL	5	
6 は MNO	はひふへほ	ハヒフヘホ	ＭＮＯ ｍｎｏ	6	ﾊﾋﾌﾍﾎ	MNO	6	
7 ま PQRS	まみむめも	マミムメモ	ＰＱＲＳ ｐｑｒｓ	7	ﾏﾐﾑﾒﾓ	PQRS	7	
8 や TUV	やゆよ ゃゅょ	ヤユヨ ャュョ	ＴＵＶ ｔｕｖ	8	ﾔﾕﾖ ｬｭｮ	TUV	8	
9 ら WXYZ	らりるれろ	ラリルレロ	ＷＸＹＺ ｗｘｙｚ	9	ﾗﾘﾙﾚﾛ	WXYZ	9	
0 わ 記号	わ を ん ー □(スペース) 。、	ワヲン ー □(スペース) 。、	．，：！？＆ ／（）［］｛｝ □（スペース）	0	ﾜ ｦ ﾝ ｰ □(スペース)	．，：！？＆ ／（）［］｛｝ □（スペース）	0	
トーン ＊	無効			＊	無効		＊	無効
#	無効			#	無効		#	無効
スピーカーホン 発信/	濁点/半濁点		無効		濁点/半濁点		無効	
◁ ▷	カーソル左右移動							
▲ ▼	かな漢字変換	無効						
内線/クリア 保留	カーソル上の１文字を消去							
内線/クリア 保留 を2秒以上押す。	全文字消去							
文字切替/キャッチ	入力モード変換							

(※)：小文字は使えません。

子機の文字入力について

■ 文字を消すには

①訂正したい文字を◀または▶で選ぶ

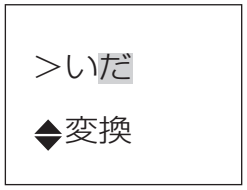


②内線／クリアボタンを押す

■ 文字を入れ直すには

①訂正したい文字を◀または▶で選ぶ

②内線／クリアボタンを押して文字を消す

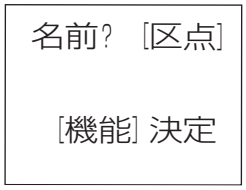


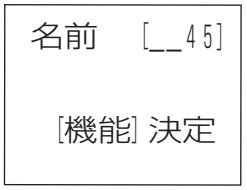
③ダイヤルボタンで正しい文字を選んで入れる

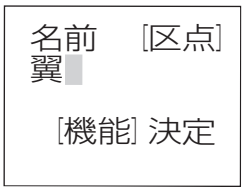
■ 区点コードで文字を入れるときは

区点コード一覧表を見ながら、ダイヤルボタンで4ケタの数字を入れます。（292～303ページ）

（例）区点コード：4567の「翼」を入れる





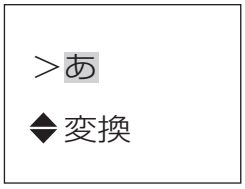


■ 同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力するときは

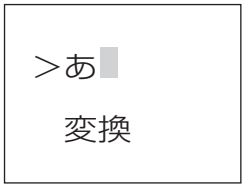
（例）「あい」を入れる

必ず▶を押してカーソルを移動させてから入力してください。

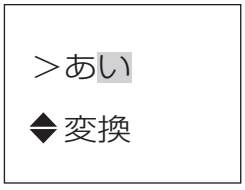
①1を押す「あ」



②▶を押す

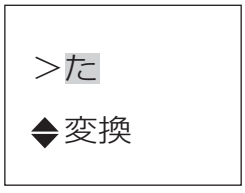


③1を2回押す「い」

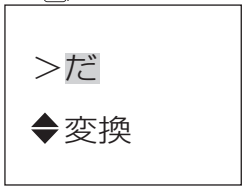


■ 濁点（゛）や半濁点（゜）をつけるときは

濁点（゛）や半濁点（゜）をつけたい文字を入れたあと、次の操作を行います。



スピーカーホン 発信/↵ を押す



●くり返し押すと（゛）や（゜）が切り替わります。

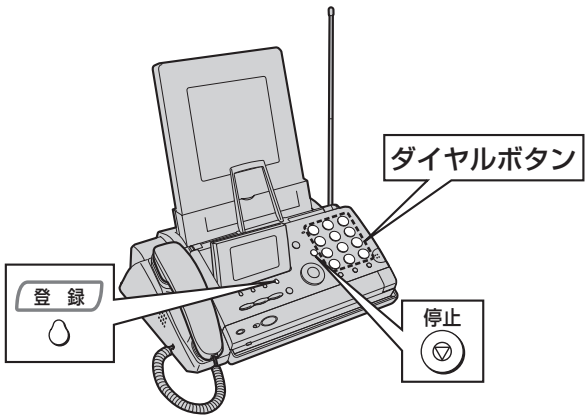
■ スペースを入力するときは

▶を必要な分だけ押します。1回押せば半角分のスペースが入ります。

（［漢］モードのときは機能ボタンを押して、文字を採用してから▶を必要な分だけ押してください。）

契約しているサービスを利用する

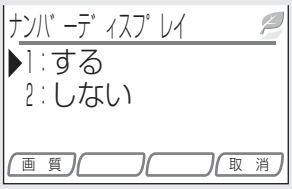
お使いの電話回線が、キャッチホン・ディスプレイ（254～255ページ）、Fネットのサービス（291ページ）を利用契約しているときは、本機をお使いになる前に、利用設定を必ず「する」または「あり」に設定してください。
はじめは、キャッチホン・ディスプレイは「しない」、Fネットは「なし」に設定されています。
ナンバー・ディスプレイの設定は、はじめは「する」に設定されています。ナンバー・ディスプレイサービスまたはLモードサービスをご利用時は必ずナンバー・ディスプレイの設定を「する」に設定したままで、お使いください。



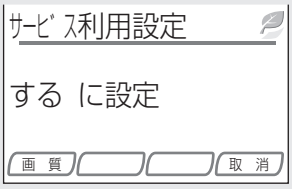
ナンバー・ディスプレイを利用設定する

受話器を置いたまま操作します。

1 登 録 (1あ) (5な) (1あ) **と押す**



2 (1あ) **を押す**



3 停止 (◇) **を押す**

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
取消ボタンを押す

●「する」に設定されます。

■ ナンバー・ディスプレイや「Lモード」を利用しないときは

手順2で (2か) を押します。

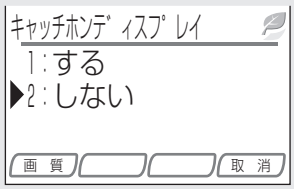
お知らせ

- 構内交換機（PBX）やビジネスホン、ホームテレホンプロセッサへ接続してお使いのときは、ナンバー・ディスプレイの利用設定を「しない」に設定してください。
- Lモードサービスをお使いのときに、ナンバー・ディスプレイの利用設定が「しない」に設定されていると、メールが届いたときのメッセージ有り通知が表示されません。

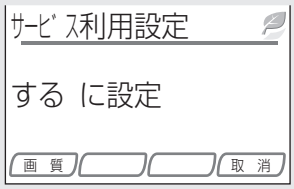
キャッチホン・ディスプレイ（番号表示）を利用設定する

受話器を置いたまま操作します。

1 登録 を押す
と押す 1 5 2



2 1 **を押す**



3 停止 **を押す**

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
取消ボタンを押す

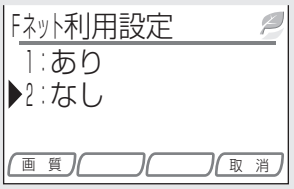
●「する」に設定されます。

■ キャッチホン・ディスプレイを利用しないときは
手順2で 2 を押します。

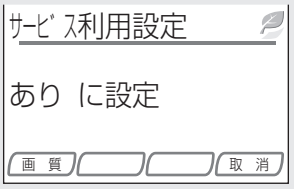
Fネットを利用設定する

受話器を置いたまま操作します。

1 登録 を押す
と押す 1 5 3



2 1 **を押す**



3 停止 **を押す**

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
取消ボタンを押す

●「あり」に設定されます。

■ Fネットを利用しないときは
手順2で 2 を押します。

お知らせ

●サービスを契約しているのに、利用設定を「しない」に設定していると、電話を受けられないことがあります。